

令和4年度

# 事業結果報告書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

I	はじめに	1
II	実施事業	
<b>1.</b>	<b>社協運営及び機能強化</b>	<b>4</b>
1-(1)	法人運営管理	4
	① 理事会	
	② 評議員会	
	③ 監査会	
	④ 正副会長会	
	⑤ 経営戦略会議	
	⑥ 事業推進会議	
	⑦ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会	
	⑧ 八市社協会	
1-(2)	広報	9
	① 社協だより・刊行物等の発行	
	② ホームページ	
	③ 「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報 発信サイト～」を通じた活動	
1-(3)	社協会費、募金等	11
	① 社協会費	
	② 日赤会費	
	③ 共同募金	
1-(4)	研修啓発、講座	14
	① 松江市社会福祉大会	
	② 健康福祉フェスティバル	
	③ 第74回松江市民余芸大会	
1-(5)	篤志寄付金配分事業の推進	15
1-(6)	共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）	15
<b>2.</b>	<b>地域福祉及び連絡調整の強化</b>	<b>16</b>
2-(1)	第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定推進	16
2-(2)	地域福祉の推進	16
	① コミュニティソーシャルワークの展開	
	② 地域福祉推進会議の開催	
	③ 地区社協・各種団体との連携	
	④ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）	
	⑤ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議	
	⑥ 福祉推進員代表者会	
	⑦ 福祉推進員研修会	
	⑧ あったかスクラム事業の支援	
	⑨ 生活再建おうちクリーニング事業	
2-(3)	広域福祉事業の推進	30
	① 福祉サービス利用援助事業の推進	
	② 法人成年後見事業	

### 3. ボランティア活動及び福祉教育 32

3-(1) コーディネート機能強化	32
3-(2) ボランティアの育成、養成	33
① 育成研修	
② 養成研修	
3-(3) ボランティアの活動支援	34
① ボランティアルームの開放、備品の貸し出し及び保険の加入促進	
② ボラカフェの開催	
③ おうち de ボランティアの実施	
④ 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援	
⑤ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援	
⑥ 松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援	
⑦ 松江市建築組合青年部ボランティア活動支援	
3-(4) ふくし教育の推進	37
3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化	38
3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施	38
3-(7) 各種大会・イベントへの参加・協力	39
① 世界網膜の日 in 山陰	
② 第 25 回日本ボランティア学習学会	

### 4. 在宅生活支援事業の推進 39

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み	39
① 地域包括支援センター事業の推進	
② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	
③ 生活支援コーディネーター設置事業	
④ 認知症地域支援推進事業	
4-(2) 各種貸付相談	50
① 生活福祉資金の貸付	
② 民生融金の貸付	
4-(3) 福祉サービス	52
① 福祉サービスの実施	

### 5. 公的福祉サービス受託事業の推進 53

5-(1) なごやか寄り合い事業	53
5-(2) 松江市暮らし相談支援センターの運営	55
① 複合的な課題を抱えたケースに対する関係機関との連携	
② 生活困窮者支援に対する理解促進	
③ 就労に向けた支援の実施	
④ フードバンク事業	
⑤ 助っ人弁護士制度	
5-(3) 高齢者あんしんサポート事業	60
5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営	60
① 相談受付業務	

- ② 利用促進業務
- ③ 後見人支援業務
- ④ 広報・啓発業務
- ⑤ 地域連携ネットワークの構築

<b>6. 介護保険関係事業の推進</b>	<b>68</b>
6-(1) 松江社協介護センターの経営	68
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(2) 美保関介護センターの経営	69
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
③ 通所介護事業及び介護予防通所介護事業	
④ 美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー	
6-(3) 松南介護センターの経営	71
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(4) 宍道介護センターの経営	72
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(5) 介護センターの研修等の推進	73
① 介護支援専門員資質向上事業	
② 訪問介護員内部研修	
③ 居宅介護支援専門員内部研修	
6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託	74
<b>7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進</b>	<b>76</b>
7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	77
① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
② 美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	
④ 宍道障がい者居宅介護事業	
<b>8. 児童福祉サービスの推進</b>	<b>79</b>
8-(1) 児童センター等の受託運営	79
① 八雲児童センター運営事業	
② 八雲児童・子育て事業	
8-(2) 子ども食堂の取り組み	80
<b>9. 福祉施設等管理運営事業の受託</b>	<b>80</b>
9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業	80
9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業	81
9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業	81

**10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進 81**

- 10-(1) 重層的支援体制整備事業 \_\_\_\_\_ 81
  - ① 多機関協働事業
  - ② アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
  - ③ 参加支援事業
  - ④ 地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

**11. 災害支援 85**

- 11-(1) 災害ボランティアセンター立上げ訓練 \_\_\_\_\_ 85
- 11-(2) 災害時における支援に関する協定の締結 \_\_\_\_\_ 85

組織・機構

- ※職員数一覧表 \_\_\_\_\_ 86

## I はじめに

新型コロナウイルス感染症は国内発生から3年が経過しました。感染状況については落ち着きはじめたところではありますが、この間に、少子高齢化の進展、家族形態・家庭の役割の変化等により、地域のつながりの希薄化はさらに進み、社会的に弱い立場にある方々は地域から孤立し、生活課題はより深刻化してきています。

松江市社協には、地域福祉を推進する中核機関として、今まで以上に「個別支援」と「地域支援」を一体的に実践することが求められています。

令和4年度は、「ふくしなんでも相談」「重層的支援体制整備事業」「権利擁護事業」「生活困窮者自立支援事業」等に取り組み、複合化・複雑化した地域生活ニーズへの支援に努めるとともに、それらの課題に対応すべく本会事業方針である〈あらゆる生活課題への対応〉〈地域のつながりの再構築〉を大切にしながら、事業の推進を図りました。

令和5年1月には、特例貸付の償還が始まり、償還免除者、償還が難しい借受人に対し、貸付事業、くらし相談支援センター等が緊密に連携を図りながら、フォローアップ支援に取り組んできました。これまでにコロナ禍で浮き彫りになった新たな生活困難層に対し、引き続き孤立することがないように関係機関とも連携をとりながら「寄り添う」伴走型の支援を実践していきます。

また、これからの松江市社協がどのような役割を果たしていくのか、組織的な議論を重ね、社協としての方向性を示していく「第5次発展強化計画(令和5年度～令和7年度)」を策定いたしました。本計画が「絵にかいた餅」にならないよう、しっかりと進行管理をしながら、オール松江市社協で取り組んでまいります。

令和4年度は、以下の事業を重点的に取り組みました。

### 1. 重層的支援体制整備事業の推進

生きる上での困難・生きづらさはあるが既存の制度の対象となりにくいケースや、いわゆる「8050」やひきこもり等、個人・世帯が複数の生活上の課題を抱え、課題全体を捉えて支援していくことが必要なケースに対して、断らず、まずは受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援（ふくしなんでも相談所）」「アウトリーチ支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の4つの支援を一体的に実践しました。

### 2. 権利擁護のある地域づくりの実践

権利擁護支援・成年後見制度の利用促進機能を強化するため、「松江市権利擁護推進センター」を中心に、相談、広報啓発、受任者調整、担い手養成、後見

人支援について、家庭裁判所、法テラス島根、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等と連携し、相談から受任調整、後見人支援までの体制整備を図りました。

特に、三士会(弁護士会、司法書士会、社会福祉士会)合同によるシンポジウム「その人らしい生き方のための権利擁護支援」、親族後見人交流会、権利擁護支援者交流会等を開催することで、後見人支援の具体的バックアップに努めました。

### 3. 地域福祉活動の推進

新たな居場所づくりとして「子ども食堂」の立上げ支援や子ども食堂交流会の開催等、〈地域のつながり再構築〉をソーシャルワークの手法に生かしながら実践しました。また、3年ぶりに「松江市健康福祉フェスティバル」を開催し、企業、社会福祉法人、ボランティア団体等、地域の関係機関が一堂に集うことで、連携協働することの必要性についてあらためて確認する機会となりました。

### 4. 地域包括支援体制実現に向けた事業の推進

本会が設置する市内14か所の「ふくしなんでも相談所」や社会福祉法人連絡会、連携薬局による「ふくしなんでも相談所」等、より住民に身近な拠点で相談を受け止め、課題解決に向けた支援を行いました。〈あらゆる生活課題に対応〉するため、6つの地域包括エリアのコミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センターがチームとなって、地域の困りごとを住民とともに考え、具体的な実践を展開しました。

松江市医師会より受託した「医療連携推進コーディネーター配置事業」では、医療機関や訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政等と連携しながら「人生会議・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の普及啓発や在宅の看取り提供体制づくり等、在宅医療と介護が一体的に提供できるよう取り組みました。

また、身寄りのない人でもスムーズに医療や介護・福祉のサービスが受けられるよう「松江市身寄りがない人への支援ガイドライン」活用推進シンポジウムを開催し、普及啓発を図りました。

### 5. コロナ禍における生活困窮者等への継続的支援

新型コロナの影響による減収や失業された方に対して、特例貸付やひとり一品運動でご寄付いただいた食料品等をフードパントリー等の方法で提供しました。令和5年1月から特例貸付の償還が始まり、償還免除者や借受人等の相談支援の充実を図るため、貸付事業、松江市くらし相談支援センターを中心に、生きづらさを抱えた市民に対し、孤立することがないように関係機関と連携して

「寄り添う」伴走型の支援を実践しました。

## 6. 福祉教育の推進

「ふだんのくらしのしあわせ」を実践するため、誰もが社会参加できる地域づくりをめざして、福祉教育の推進・実践に取り組んできました。島根県社協の「しまね流ふくし教育推進モデル事業」として竹矢小4年生50名と「共に生きる・まちのやさしさに気づこう」をテーマに当事者との交流や施設見学・地域探検等実施しました。子どもたちの生活の場である学校や地域で「共に生きる」という意識が共有され、地域の様々な人のつながりと協働のもとで、福祉観を育む実践を展開していくことが重要と考えています。



## II 実施事業

### 1. 社協運営及び機能強化

#### 1-(1) 法人運営管理

【総務課】

社会福祉法人制度改革に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。

#### ①理事会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 4 年 6 月 1 日 (水) 10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</li> <li>出席者 総数 19 名中 15 名 監事 1 名</li> <li>・事務局に関する規程の一部改正について</li> <li>・定年後継続雇用職員就業規程の一部改正について</li> <li>・松南第 2 地域包括支援センター介護予防支援事業及び介護予防ケアマネジメント事業運営規程の一部改正について</li> <li>・令和 3 年度事業結果報告について</li> <li>・令和 3 年度会計収支決算について</li> <li>・評議員の推薦について</li> <li>・理事の推薦について</li> <li>・令和 4 年度第 1 回評議員会の開催について</li> <li>以上原案どおり可決</li> <li>・令和 5 年 4 月採用正規職員募集について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護センターの開設により福祉サービス利用援助事業の相談件数が、減少しているが特に認知症高齢者の減少が著しい要因</li> <li>・松江社協訪問介護事業において要支援の利用者が倍増している要因</li> <li>・重層的支援体制整備事業の進捗状況</li> </ul>
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 4 年 12 月 12 日 (月) 10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</li> <li>出席者 総数 19 名中 14 名 監事 2 名</li> <li>・職員の給与に関する規程の一部改正について</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・令和 4 年度会計補正予算 (第 1 号) について</li> <li>・自動車保険フリート契約 (任意保険) の締結について</li> <li>・評議員の推薦について</li> <li>・令和 4 年度第 2 回評議員会の開催について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車保険フリート契約において割引率上昇であることから、交通事故減少したと想定されるが、交通事故の状況</li> <li>・ふくしなんでも相談所において社協以外が窓口として取り扱った状況</li> <li>・保育所がふくしなんでも相談所の窓口をするに</li> </ul>

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 2 回（続き）	<p>以上原案どおり可決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4 年度事業の実施状況について、コロナ禍における生活困窮者への対応及び重層的支援体制整備事業を中心に報告</li> </ul>	<p>あたり市長の許可を受け毎年報告を求められており簡素化することについての要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ特例貸付償還事務について</li> </ul>
第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 5 年 3 月 24 日（金）10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</li> <li>出席者 総数 19 名中 16 名 監事 2 名</li> <li>・事務局に関する規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター居宅介護支援事業運営規程の一部改正について</li> <li>・美保関介護センター通所介護関連事業各運営規程の一部改正について</li> <li>・各介護センター訪問介護関連事業各運営規程の一部改正について</li> <li>・各地域包括支援センター介護予防マネジメント事業運営規程の一部改正について</li> <li>・令和 4 年度会計補正予算（第 2 号）について</li> <li>・令和 5 年度事業計画について</li> <li>・令和 5 年度会計予算について</li> <li>・総合福祉センター清掃業務契約の締結について</li> <li>・総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結について</li> <li>・美保関介護センター給食業務契約の締結について</li> <li>・評議員の推薦について</li> <li>・令和 4 年度第 3 回評議員会の開催について</li> </ul> <p>以上原案どおり可決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年 6 月採用（中途）正規職員募集について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ACP の啓発、人生会議の推進等人生最終段階の支援の充実における今後の方向性や具体的なプランについて</li> <li>・松江市におけるこども食堂の件数、具体的な運営方法</li> <li>・こどもの居場所や、寺子屋事業、学習支援事業の現在の状況</li> </ul>

②評議員会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 4 年 6 月 16 日 (木) 10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4 階 教養室</li> <li>出席者 総数 24 名中 17 名 監事 1 名</li> <li>・令和 3 年度事業結果報告について</li> <li>・令和 3 年度会計収支決算について</li> <li>・理事の選任について</li> <li><u>以上原案どおり可決</u></li> <li>・令和 5 年 4 月採用正規職員募集について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ特例貸付を含めた生活福祉資金貸付制度について</li> <li>・社協会費、日赤会費について</li> <li>・ふくしなんでも相談について</li> <li>・決算におけるコロナ禍前との数値の比較に、コロナ回復後の事業の考え方</li> </ul>
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 4 年 12 月 21 日 (火) 10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4 階 教養室</li> <li>出席者 総数 24 名中 21 名 監事 1 名</li> <li>・報酬費用弁償支給規程の一部改正について</li> <li>・令和 4 年度会計補正予算 (第 1 号) について</li> <li><u>以上原案どおり可決</u></li> <li>・令和 4 年度事業の実施状況について、コロナ禍における生活困窮者への対応及び重層的支援体制整備事業を中心に報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算において事業活動の収入減額となる一方で支出が増額となる理由</li> <li>・介護サービスの利用減少は需要が減ったのか供給が難しいのか、その理由</li> <li>・ふくしの学び会い事業について</li> <li>・コロナ特例貸付の償還業務について</li> <li>・ひとり親世帯等物資支援の対象者への呼びかけ方法</li> <li>・高齢者あんしんサポート事業について</li> <li>・コロナ特例貸付先で住所不明者への市社協としての対応</li> <li>・包括的相談支援事業における警察との連携</li> </ul>

事業名等	内 容	質疑・意見等
第2回（続き）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉関係者としてのひとり親等若い世代の生活困窮者への情報収集、支援方法の困難さ</li> <li>・コロナ禍の影響による、中高生の達成感・成就感がなくなることが懸念される中、地域の大人の支援活動の必要性</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年3月29日（水）10:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4階 教養室</li> <li>出席者 総数24名中19名</li> <li>・令和4年度会計補正予算（第2号）について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度会計予算について</li> <li><u>以上原案どおり可決</u></li> <li>・令和5年6月採用（中途）正規職員募集について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協職員の待遇、賃金決定方法、市職員との賃金水準比較</li> <li>・新型コロナウイルス特例貸付債権管理等事業の職員体制、業務内容について</li> </ul>

### ③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

事業名等	内 容	質疑・意見等
監査会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年5月26日（木）9:00～</li> <li>場所 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>内容 令和3年度 事業報告、会計収支決算監査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書、財務諸表正確であり不整の点なし</li> <li>・法人会員の拡大</li> <li>・美保関通所介護事業の利用者推移</li> <li>・地域福祉の発展のためのアプローチ</li> </ul>

### ④正副会長会

事業名等	内 容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年5月24日（火）11:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>出席者 会長1名、副会長2名</li> </ul>

事業名等	内 容
第 1 回（続き）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 回理事会議案・第 1 回評議員会議案等について</li> <li>・ 令和 5 年 4 月採用正規職員募集について</li> </ul>
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 4 年 12 月 2 日（金） 11：00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>出席者 会長 1 名、副会長 2 名</li> <li>・ 第 2 回理事会・第 2 回評議員会議案等について</li> </ul>
第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 5 年 3 月 16 日（木） 11：00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室</li> <li>出席者 会長 1 名、副会長 2 名</li> <li>・ 第 3 回理事会・第 3 回評議員会議案等について</li> </ul>

#### ⑤経営戦略会議

管理職において、毎月第 1 水曜日に事業の進捗状況を把握し、課題を明確にすることで、今後の方針や事業展開について検討しました。

#### ⑥事業推進会議

専務理事、事務局長、各課の課長、係長が参加し、毎月第 4 水曜日に事業推進会議を開催して、各課が年度当初にあげた重点事業について、事務局長や他課からの意見を伺いながらその進捗管理を行い、社協全体で情報を共有しました。

事業名等	回数	内 容
本所事業推進会議	12 回	重点事業進捗管理と情報の共有

#### ⑦中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

中国及び四国地域の都市社協で構成し、情報発信や提言・提案活動を展開することで、地域福祉の本格的な推進と社協組織の基盤強化を図ることを目的とし設置している「中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会」の事務局を前年度に引続き本会が受けることとなり会の運営を行いました。今年度もコロナ禍により一堂に会することはできませんでしたが、オンラインによる会議、研修会等を以下のとおり実施しました。

事業名等	内 容
監査会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和 4 年 7 月 6 日（水）付 書面による監査</li> <li>監事 大田市社協事務局長、総社市社協事務局長</li> <li>・ 令和 3 年度 事業報告、会計収支決算監査</li> </ul>

事業名等	内 容
運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年8月26日(金) 17:00～</li> <li>会場 松江市総合福祉センター 会議室 (Zoomによる開催)</li> <li>出席者 会長(代理出席)、監事2名、運営委員5名</li> <li>内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第59期事業報告及び決算、第60期事業計画(案)及び予算(案)、規約の一部改正、企画委員会設置要綱の一部改正について承認</li> <li>・第60期の総会についてはコロナ禍により、書面による審議とすることを決定</li> <li>・研修会及び情報交換会内容について協議</li> <li>・第61期、第62期役員等について</li> </ul> </li> </ul>
総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年9月16日(金) 付 書面による審議</li> <li>内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第59期事業報告及び決算、第60期事業計画(案)及び予算(案)、規約の一部改正について</li> <li>・会員40都市社協全てが全議案について賛成し承認</li> </ul> </li> </ul>
研修会 情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年1月25日(水) 13:30～16:30</li> <li>場所 総合福祉センター 会議室、4階教養室 (Zoomによる開催)</li> <li>参加者 27都市社協役職員(39組参加)</li> <li>内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>【講演会】</li> <li>「地域共生社会実現に向けたむけた社会福祉協議会のこれから」</li> <li>講師 一般財団法人コミュニティネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 氏</li> <li>【情報交換会】</li> <li>テーマ「地域共生社会実現に向けた貴社会福祉協議会での特徴的な取り組み、工夫されたこと」「講演を受けての感想、疑問」</li> <li>6グループに分かれディスカッションの後、全体で報告</li> </ul> </li> </ul>

## ⑧八市社協会

今年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業、研修会等は開催されませんでした。

## 1-(2) 広報

【総務課】

### ①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年6回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また視覚障がい者の方に向けても、よりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

年6回発行（5月・7月・9月・11月・1月・3月）A4版 白黒 6ページ

巻数	発行月	発行部数	表紙の内容
第139号	令和4年 5月	1号につき 77,900部 (音訳) 140部 (点訳) 70部	「あなたの身近な相談窓口設置」(松江市社会福祉法人連絡会、ふくしなんでも相談所連携薬局)
第140号	令和4年 7月		篤志寄付金(主に香典返し)へのご協力をお願い
第141号	令和4年 9月		赤い羽根共同募金運動 10月1日スタート
第142号	令和4年 11月		赤い羽根共同募金ご協力をお願い
第143号	令和5年 1月		松江市社協から新年のご挨拶
第144号	令和5年 3月		赤い羽根共同募金協力に対するお礼、ご報告

## ②ホームページ

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報をタイムリーに発信するように努めました。ユーザー数もここ数年と比較し増加しました。

項目	令和4年度	令和3年度
ユーザー数	<b>30,069件</b>	27,893件

## ③「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報発信サイト～」を通じた広報活動

社会福祉協議会の役割や活動をPRするため、島根県内のすべての社協（県社協、19市町村社協）合同の情報発信サイト「しまねの社協がそこにある！」の運用が令和4年7月から始まりました。このサイトは地域福祉の推進役としての役割を担う、「社協」の存在を多くの方々に知っていただくため、県内社協担当者が議論を重ね開設されました。本会でも下記のとおり記事を掲載しました。

記事提供月	記事内容
令和4年 7月	「災害時におけるボランティア支援に関する協定」(市内ライオンズクラブ)
令和4年 9月	地域の子どもと高齢者が交流する、子どもカフェ in 喫茶あさひ
令和4年 10月	移送支援ボランティア「菅浦手助す一隊（すげうらてごすーたい）」
令和4年 11月	成年後見制度啓発DVD（ミニドラマ）のご紹介
令和4年 11月	～誰でも気軽に立ち寄れる居場所～智者ヶ池お茶の間カフェの取り組み
令和4年 12月	新しい地域活動の拠点『こども食堂ブドリの家』オープン！
令和5年 1月	地域で見守りともに支えあう。～国尾自治会での取り組み～
令和5年 1月	ひとり親世帯支援提供会を開催
令和5年 3月	あいサポーター研修会～誰もが気兼ねなく宿泊できる旅館・ホテルを目指して～

記事提供月	記事内容
令和5年 3月	お互いの繋がりを防災にいかして～八雲の取り組み～

#### ④「メールニュース まつえ社協」の配信

本会が行っている取り組みや情報などをタイムリーに周知するためのメール配信を、令和4年9月から始めました。配信先は各地区社会福祉協議会(公民館)、行政、関係機関、他市町村社協等です。

○配信回数：7回(毎月1回)(令和4年9月～令和5年3月)

### 1-(3) 社協会費、募金等

#### ①社協会費

【総務課】

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

◆令和4年度 社協会費 (単位：円)

区分	件数	金額	R3年度実績
一般会費	803 自治会	24,380,142	25,573,634
特別会費	25 件	61,800	56,000
団体会費	62 件	255,000	283,000
法人会費	116 件	638,000	660,000
計		25,334,942	26,572,634

※一般会費とは1世帯当たり800円 ※特別会費とは個人で一口2,000円以上

※団体会費とは福祉施設対象で一口3,000円以上 ※法人会費とは企業対象で一口5,000円以上

#### ②日赤会費

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、会員へのご加入と会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長 上定昭仁(市長)

◆令和4年度 日赤会費 (単位：円)

区分	件数	金額	R3年度実績
普通会費	799 自治会	20,373,830	20,517,220
特別会費	28 件	79,000	66,000
法人会費	104 件	669,000	779,000
計		21,121,830	21,362,220

※普通会費とは1世帯当たり700円以上

※特別会費とは個人1回2,000円以上で積立20,000円以上 ※法人会費とは企業対象



### ③共同募金

今年度も多くの市民や関係団体の協力得て、10月1日から12月31日（テーマ募金は1月1日から3月31日）まで共同運動を展開しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意した中での運動となり、街頭募金、市民余芸大会は中止となりました。

そのため募金総額は昨年度総額より減少となりましたが、寄付付き商品を企画して、売上の一部を共同募金に寄付していただく「募金百貨店プロジェクト」への登録を1企業増やすことができました。また、職域募金ではクオカード・図書カード等を通じた募金を依頼したところ、市役所、松江市企業局、民児協、学校教職員、福祉施設等のご協力をいただき、昨年度の実績を上回ることができました。

さらに、助成団体から寄付者へのメッセージを伝えることや共同募金の使途を周知するために助成団体からのメッセージ動画を作成し、ホームページで紹介しました。

なお令和5年度事業の助成については、今年度の募金額では賄うことができないため「新型コロナウイルス感染症拡大下における福祉活動支援特別助成プログラム」を活用し、各団体への助成に充てる予定となっています。

#### ◆令和4年度共同募金

（単位：円）

区分	件数	金額	R3年度実績
戸別募金	<b>791 自治会</b>	<b>20,454,979</b>	21,635,298
街頭募金(主に募金箱)	<b>58 カ所</b>	<b>189,120</b>	223,265
法人募金	<b>258 件</b>	<b>1,371,000</b>	1,554,874
学校募金	<b>45 校</b>	<b>695,787</b>	875,780
職域募金	<b>104 件</b>	<b>818,500</b>	769,500
イベント募金	<b>27 件</b>	<b>183,846.</b>	131,511
物品募金	<b>96 件</b>	<b>655,100</b>	677,700
個人募金・その他募金	<b>106 件</b>	<b>943,668</b>	916,878
テーマ募金	<b>47 件</b>	<b>572,800</b>	—
計		<b>25,884,800</b>	26,784,806

#### ◆募金活動

募金種別	内容
戸別募金	①各地区自治会・町内会連合会長を通して、各地区世帯へ依頼。 ②随時、各公民館区で協力依頼を実施。
街頭募金 (募金箱含む)	①10月1日一斉街頭募金（コロナ禍により未実施） ②スサノオマジックホームゲーム 共同募金ブース3 試合出展 ③常設募金箱： 新規協力店 ・カナツ技建工業(株) ・ 社会保険労務士法人村松事務所 ④企業ボランティア松江ネットワーク会議 募金箱協力 7社

募金種別	内 容
街頭募金 (続き)	・(株)佐藤組 ・松江商工会議所 ・松江土建(株) ・まつえ北商工会 ・SC アドクロス(株) ・まるなか建設(株) ・サンベ電気(株)
法人募金	①企業等へダイレクトメール ②本会役職員、事務局による訪問及び協力依頼 ③地区社協選出の募金ボランティアによる訪問及び協力依頼
学校募金	①市内小中学校にドラえもん募金箱等を配布し協力依頼 贈呈式の実施 11校
職域募金	①図書カード・クオカード等を通じた募金依頼 市関係機関、民児協、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼
イベント募金	①公民館文化祭等行事 ②各種団体開催イベント ③松江市民余芸大会 (コロナ禍により中止)
物品募金	①県共募製作のピン・缶バッジ、エコバッグ、園山俊ニシリーズのグッズ (既存作成分)について公民館、事務局等を窓口とし募金を呼びかける 他、職域募金にあわせ市関係機関、学校教職員、企業、福祉団体等訪問 依頼 ②ガチャガチャ (ピン・缶バッジ) の常設設置 ・松江歴史館 ・玉造温泉ゆ〜ゆ ・堀川遊覧船事務所 ・松江フォーゲルパーク ・松江クロード (フォーゲルパーク、クロードについては今年度オリジナルバッジを作成)
個人募金・ その他募金	①募金百貨店プロジェクト 7企業 新規協力店 ・(有)オートプラザコウノ ②赤い羽根自動販売機 17カ所 ③個人等その他
テーマ募金	①団体名：フードバンクしまね あったか元気便 事業名：フードバンク宅配事業 (子育て支援及び児童健全育成に関する活動)

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移

(単位：円)

区 分	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
社協会費	<b>25,334,942</b>	26,572,634	27,003,035	27,655,929	28,664,712
日赤会費	<b>21,121,830</b>	21,362,220	21,927,636	22,503,496	23,169,580
共同募金	<b>25,884,800</b>	26,784,806	26,496,037	28,850,565	30,907,732
計	<b>72,341,572</b>	74,719,660	75,426,708	79,009,990	82,742,024

1-(4) 研修啓発・講座

【総務課】

①松江市社会福祉大会

事業名等	内容
松江市 社会福祉大会	<p>●日時 令和5年10月18日(火) 13:30～15:30</p> <p>会場 島根県民会館 中ホール</p> <p>内容 【表彰式典】(会長表彰及び感謝状贈呈)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員功労者表彰 70名</li> <li>○福祉推進委員功労者表彰 21名</li> <li>○社会福祉施設及び団体役員功労者表彰 15名</li> <li>○社会福祉施設及び団体職員功労者表彰 27名</li> <li>○優良社会福祉施設及び団体表彰 1団体</li> <li>○松江市社会福祉協議会長感謝(個人) 4名</li> <li>○松江市社会福祉協議会長感謝(団体) 1団体</li> </ul> <p>【記念講演】</p> <p>「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」</p> <p>講師 松江市長 上定 昭仁 氏</p> <p>参加者 280名</p>

【地域福祉課】

②健康福祉フェスティバル

市民だれもが健やかに生きがいをもって社会参加できるよう、健康づくり、福祉やボランティアについて、幅広い世代に向けて意識啓発を行うことを目的に「2023 健康福祉フェスティバル」を開催しました。

事業名等	内容
2023 松江市健康福祉 フェスティバル	<p>●日時 令和5年3月5日(日) 9:30～15:30</p> <p>会場 松江市総合体育館</p> <p>内容 オープニング「松江市の歌でエクササイズ」ティンクル☆アクア 「消防音楽隊による演奏」</p> <p>各種コーナー ・販売コーナー ・活動、展示コーナー ・健康、体験コーナー ・相談コーナー ・ステージイベント ・スタンプラリー</p> <p>出展団体 42団体 述べ入場者数 約2,200人</p> <p>※「ボランティアフェスティバル」、シルバー人材センター40周年記念「シルバーまつり」との合同開催、「体力テスト体験会」「レクリエーション・スポーツフェスティバル」との同時開催</p>

### ③第 74 回松江市民余芸大会

【地域福祉課】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催しませんでした。

#### 1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの香典返しを中心とした寄付金をお預かりし、社会福祉事業を行う地区社協や福祉団体・ボランティア団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、地域福祉の推進に役立てられました。

葬儀の形態が変化していること等から香典返し寄付金が減少傾向にありますが、動画を作成し中央郵便局でのデジタルサイネージによる広報や、葬儀社 5 社を訪問し、寄付の方法や寄付金の状況、使われ方の説明を行って、説明チラシについて葬儀マニュアルに合わせての配布、葬儀場への常設、スタッフの説明資料等で活用していただけることとなりました。

(収入)

単位：円

区 分	R 4 年度		R 3 年度	
	寄付金収入	989 件	25,324,910 円	957 件

(支出)

区 分	R 4 年度		R 3 年度	
	福祉団体助成金	37 件	3,176,146 円	19 件
地区配分金	29 件	12,607,456 円	29 件	13,984,800 円
地域援助費	52 件	3,660,662 円	52 件	4,618,179 円
指定寄付金	0 件	0 円	9 件	205,000 円
助成金支出	12 件	220,000 円	2 件	80,000 円
社協事業費支出	1 件	1,000,000 円	1 件	1,000,000 円
事務費支出		203,550 円		424,361 円
計	131 件	20,867,814 円	112 件	24,170,803 円

(収支)

資金収支差額	4,457,096 円	1,755,797 円
次期繰越金	18,792,482 円	14,335,386 円

#### 1-(6) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【総務課】

NPO 法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【令和 3 年度募金（令和 4 年度事業）】

## ◆地域福祉活動推進事業（公募配分）

決定総額 400,000 円

	申請団体名	事業名
1	特定非営利活動法人 おやこ劇場松江センター	地域こどもフェスティバルの開催 人形劇団京芸「まんてんげきじょう」
2	特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	障がい児のための音楽ワークショップ 「たのしい楽団」の開催・運営

**2. 地域福祉及び連絡調整の強化****2-(1) 第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定推進**

【地域福祉課】

第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画普及版《EPISODE：つばきさんの一生》《EPISODE II：第2子も松江で!》を活用し、市民・関係機関の皆様方と推進したい事項について取り上げました。

この普及版を利用して関係諸団体への研修を行いました。また、他市町村や社協に対して情報提供を行いました。

**2-(2) 地域福祉の推進**

【地域福祉課】

**①コミュニティソーシャルワークの展開**

令和元年度からコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を各包括支援センターと同じ事務所に配置することで、より住民の身近な場所で相談を受ける体制をつくりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。また、地域で必要な社会資源の開発（移送支援、買い物支援、居場所づくりなど）を行いました。

## ◆CSWにおける個別ケースへの支援状況（6エリア合計）

支援内容	回数
個別支援ケース実数	132人
個別支援ケース延べ対応数	783回
関係機関や関係者に対して行った働きかけ	463人

## ◆CSWにおける地域での新たな取り組み

## ○中央地域包括支援センターエリア

【キッチンかえで（第二淞北台子ども食堂）】（城北地区）

第二淞北台では集会所を活用し、毎月第2土曜日に主に小学生が集まって勉強をする寺子屋事業を展開していました。令和4年度に寺子屋事業を拡充させる形で子ども食堂の立ち上げを行いました。寺子屋終了後のお昼12時から、勉強を終えた子どもたちに食事を提供しています。また、参加の対象は子どもに限らず、誰もが集える居場所として運営しており、団地内の高齢者

や外国人世帯などを含め、毎回 20 名程度の参加があります。

令和 5 年 4 月からはキッチンかえでと同日に城北公民館でも子ども食堂が開催されることとなり、より一層居場所の拡充が進むことと思います。

#### 【城西地区社協スタッフ会】（城西地区）

城西地区では令和 3 年度に地区社協会長、公民館事務局、CSW の三者が同時に交代し、体制の抜本的な見直しが課題でした。令和 4 年度に CSW が呼びかける形で毎月 1 回以上のスタッフ会を開催しました。メンバーは地区社協会長、副会長、公民館事務局、CSW の四者を中心に必要に応じて理事を参集しました。

月に 1 回顔を合わせて地区社協事業や 5 次計画の振り返りを行うなかで、地区社協だよりが長らく発行されておらず、住民に活動を報告する機会がないことが課題として挙げられました。

そこでスタッフ会を通じて地区社協だよりを作成し、この度 6 年ぶりに発行することができました。

#### ○松北地域包括支援センターエリア

##### 【古浦 de あさいち出張ふくしなんでも相談所】（鹿島地区）

鹿島町古浦地区では毎週木曜日に朝市を開催しており、買い物に加えて地域住民の交流の場となっています。福祉の相談窓口の周知や健康づくりの啓発、地域の方と顔のみえる関係づくりを目的に行政保健師、松北包括支援センター、CSW が参加して「出張ふくしなんでも相談所」を月に 1 回会場内で実施しました。保健師による健康チェックと健康相談、様々な相談に関する相談先を案内し、後日改めて相談につながるなどの効果もありました。自治会にも活動趣旨を賛同いただき、令和 5 年度も引き続き朝市主催者、自治会と連携しながら活動を続けていきます。

##### 【有償ボランティア組織の立ち上げ～あいか☆お助け隊の発足～】（秋鹿地区）

秋鹿地区ではこれまで住民アンケートをもとに、買い物支援や若者の集いなど地域課題に根差した取り組みを行っています。近年少子高齢化が顕著に進んでいく中で、公的制度だけではなく地域でお互いに支え合う仕組みづくりの機運の高まりがみられました。令和 4 年 10 月 1 日に先進的な取り組みを行っている忌部地区「忌部輪の会」の活動事例を学ぶ研修会を開催し、地域でのボランティア活動についてグループワークを行いました。その後、支え合う仕組みづくりを組織化するために活動趣旨・組織体制・利用料、支援内容など地区社協を中心に検討し、2 月 24 日には草刈りに関する講習会を実施しました。令和 5 年 3 月 1 日より「あいか☆お助け隊」として正式にスタートし、お助け隊の隊員も 15 名（うち高校生 1 名）が集まり、重い荷物の運搬や畑の耕し、草刈りなどの活動を行っています。困りごとの解決はもちろんですが、「日常の見守り、つながりづくり」を大切に次年度も検討を重ねながら活動を推進していく予定です。

○松東地域包括支援センターエリア

【笠無地区 高齢者世帯を対象とした訪問調査】(川津地区)

下東川津町にある笠無地区は自治会加入世帯が約 80 世帯、10 班に分けられている地区です。ここ近年住民の高齢化が進み、地域包括支援センターに寄せられる相談が増えてきました。令和 3 年度に行った隣接地の北山団地訪問調査を受けて、笠無地区の福祉推進員から「自分の地区でも同様に調査を実施したい」という思いがありました。6/13～6/17 に笠無自治会に加入している高齢者がいる世帯(希望者:15 世帯)を対象に包括支援センター職員、CSW で訪問調査を行いました。①生活の困り事の把握(地域課題の把握)②福祉なんでも相談所の周知③緊急医療情報活用事業の周知④熱中症の注意喚起(チラシ配布)を実施しました。調査の結果、約 4 割が近所との定期的な関わりないと回答があり、約 10 年前に祖子分自治会から独立して新たに笠無自治会を立ち上げたことが大きな要因であることが判明しました。ニーズとしては「地区内の住民との交流の場」「防災に関しての情報提供」が特に多かったです。このことを踏まえ令和 5 年度は「地域住民の集いの場の創出(まずはゆるやかなお茶のみの場を設定)」、「要配慮者支援会議等の組織づくり」を自治会、福祉推進員と協働しながら行っていく予定です。

【有償ボランティア組織の立ち上げ支援】(八束地区・朝酌地区)

八束町にある遅江地区は人口約 453 人、世帯数 145 世帯、高齢化率 39.3%と八束町全体の平均よりもやや高齢化率が高い地区です。遅江地区では自治会役員と福祉推進員による高齢者独居世帯(18 世帯)の見守り活動や自治会組織の隣組長会議を行い、地域住民から地域の困り事などを聴いています。その中で運転免許返納による買物・通院に対する移動の不安、自宅や農地などの草刈りの難義さ、冬場の除雪などが困難となっている状況が明らかになりました。また、地区中心部の空き家・空き地が増加し、雑草が繁茂し生活環境が悪化している等の声が寄せられました。そこで従来、世代間交流や伝統文化の継承活動、環境美化活動等を行っていた地区団体「遅江元気塾」を中心に、地区内の助け合いによる草刈り、除雪等の困りごとを解決するための仕組づくりについて地区社協を中心に協議を行いました。立ち上げ財源として島根県社協の『地域共生社会創造助成金』を申請し「遅江地区助け合い事業」が開始しました。草刈り、除雪等の作業を 500 円(30 分以内、スタッフ 1 名につき)で行うなど、少しずつ地域住民にも周知され、互助活動を通じてお互いがお互いを見守ることができ地区の見守り活動の一翼を担っています。

同様に朝酌地区でも草刈り、家具の移動、掃除、買い物代行、電球交換等の簡単な作業等を有償ボランティア(1 回 500 円・60 分以内・スタッフ 1 名)で行う「あさくみ てごの会」が令和 5 年 4 月から開始します。朝酌地区では、第 5 次地区地域福祉活動計画のなかで「有償ボランティア組織の立ち上げ」が重点事業となっており、長年第 2 層協議体のなかで協議がなされました。令和 4 年 8 月末に組織化に向けて趣意書と協力者募集のチラシを作成し全戸配布したところ町内 14 名の賛同者があり、そのメンバーを中心にコアスタッフ会 4 回・全体会 2 回を踏まえ、有償ボランティア組織「あさくみ てごの会」が立ち上がりました。今後はチラシを配布

する等地域住民へ広く周知し活動につなげていく予定です。

【こども食堂の立ち上げ支援】(持田地区・本庄地区・朝酌地区)

松東エリアでは令和4年度新たにこども食堂が3か所立ち上がり(合計6か所)、いずれも立ち上げ支援にCSWが携わりました。

○湖南地域包括支援センターエリア

【出張ふくしなんでも相談所の開設】(宍道地区・玉湯地区・忌部地区・乃木地区)

住民の身近な場所で相談を受ける体制を強化するため、令和3年度から宍道、玉湯、忌部の各々の公民館で開催されている「公民館喫茶」で出張ふくしなんでも相談所を開設しました。令和4年度は新たに乃木公民館「喫茶さんあいサロン」で新規開設を行いました。

また宍道駐在所との連絡会において商業施設で気になる高齢者を見かけることがあるといった話から、宍道町内にある宍道ショッピングスクエアベルのご協力を頂き、施設内で出張ふくしなんでも相談所を開設することができました。

【学校との連携】(忌部地区)

忌部地区において忌部小学校6年生を中心に、地域・住民に対して感謝の意を込めて『小さな輪の会～小学6年卒業プロジェクト』銘打って地域施設(公民館、神社仏閣)4カ所で清掃活動を地区社協・福祉推進員と一緒に実施しました。参加した子どもたちから「生まれ育った地域をきれいにできてよかった」「地域の大人の方と一緒に活動できてよかった」、福祉推進員の方々からも「子どもたちの育つのを見守ってきた、その子どもたちが巣立っていく気持ちで活動した。また帰ってきてほしい」「来年も子どもたちと活動したい」といった声をいただきました。

【玉湯地区内福祉施設連携事業～ざっくばらん会議～】(玉湯地区)

昨年度に引き続き、玉湯地区内の福祉施設で働く職員同士の顔がわかる関係づくりを図るために毎月「ざっくばらん会議」を開催し情報交換や研修会の企画などざっくばらんに話し合いました。会議の中で地域に根差した施設を目指すため地域に貢献できる取り組みがしたいとの話があり、各施設から地域に対してできること、また「ざっくばらん会議」として地域に対してできることを話し合い、地域貢献シートの作成に取り掛かりました。また、令和4年度からは行政保健師も参加し地域活動だけでなく行政との情報交換の場にもなりました。

○松南第1地域包括支援センターエリア

【こども食堂 ブドリの家実施】(古志原地区)

子ども達や高齢者が気軽に立ち寄り、食の提供や様々な活動を通じて、子ども達が生き生きと活躍し、多世代が交流することにより地域コミュニティを再構築する場所をつくりたいという立



ち上げ者の想いのもと支援を行いました。

毎月第2、第4土曜日を開催とし、令和4年12月3日に第1回目を開催しました。初回から52名の参加があり、年度内は計7回実施。延べ366名の参加がありました。ボランティアスタッフも20名以上の参加があり、松江南高校のJRC部や松江工業高校からも生徒が参加しています。新聞やテレビの取材もあり、注目のこども食堂となっています。

#### ○松南第2地域包括支援センターエリア

【防災を切り口にした平時からのつながりづくり】(竹矢地区、八雲地区、東出雲地区)

##### ◦竹矢：居宅介護支援事業所ケアマネジャーと民生委員の連携会議

同じ福祉の分野の両者であります。なかなかつながりを持っていない課題があり、今年度は「防災」という誰にでも共通する切り口をもって相互の連携を深める会議を開催しました。

6/1 第1回開催 「ケアマネジャーの関わった難病事例者の防災支援事例」  
「災害伝言ダイヤルの実体験」

10/26 第2回開催 「架空事例をもとにケアマネジャーと民生委員の役割について  
グループワークの開催」

##### ◦八雲：民生委員と福祉推進員の連携会議

豪雨災害とそれに伴う避難勧告の経験を経て、地域の中で福祉推進員と民生委員の連携を深める必要性が生まれたため、地区社協が企画をして開催しました。

2/26 民生委員と福祉推進員の連携会議「松江市防災危機管理課出前講座」  
「架空事例をもとに自分たちのできることをグループワーク」

##### ◦東出雲：やらこい東出雲（東出雲多職種ネットワーク）での防災研修

従来からあるネットワークを活かし、地域内の災害時要援護者のうち多くにかかわる居宅介護支援事業所のケアマネジャーを中心に、防災知識の獲得とBCP策定に関する研修会を実施しました

6/24 やらこい東出雲研修「防災危機管理課出前講座」

11/15 やらこい東出雲研修 DSあるく種田講師による「BCP策定に関して」

【青葉台すこやかライフを推進する会の支援「青葉台料理サロン設立」】(竹矢地区)

平成20年より発足した青葉台すこやかライフを推進する会。発足以降、地区住民を対象としたエクササイズ介護予防教室の新設や、英会話やスマホ講座を行ってきました。令和4年度においては島根県社協の『地域共生社会創造助成金』を申請し、約60万円の助成が決定しました。これに伴い地域内に新たに「料理サロン」を立ち上げ毎月実施しています。2回目実施からは料理サロンには参加できないが、地域内の独居高齢者や障がい者を対象としてデリバリーも行って

おり、定期的な見守り活動の一つとして機能しています。

#### 【障がい者理解を深める研修会の開催】（八雲地区）

近年地区社協の取り組みが高齢者支援に偏ってはいないか？という懸念から、地区社協としても障がい者の理解啓発を進めることを計画。実施にあたっては八雲地域人権教育推進協議会の協力を得て、あいサポーター研修を開催。講師はなにわ一水：勝谷社長をお招きし実施しました。

#### 【NPO 法人かみいとうへの支援】（東出雲地区）

地域内の主要な団体である NPO 法人かみいとうより企画相談があり、これを実施するにあたり島根県社協の『地域共生社会創造助成金』へ申請し約 50 万円の助成が決定しました。地域をまきこんだイルミネーションイベントを開催し、特にイベント当日よりも準備段階での関係者間のつながりづくりを意識しており、開催当日に向けて地区内高齢者から小学生まで多くの協力者を得て開催しました。

#### 【東出雲中学校との協働 乳児院へのスタイの作成事業】（東出雲地区）

従来から東出雲中学校ボランティア部への支援を行っており、令和 3 年度には日赤乳児院へ手作り布おもちゃの寄贈を行いました。その際、日赤乳児院側より「スタイ(よだれかけ)はいくらあってもうれしい」との意向あり、その旨中学校へ打診しました。結果、地区社協の青少年子育て部のボランティアスタッフの多大なる貢献のもと 40 枚のスタイを作成し寄贈しました。

### ②地域福祉推進会議の開催

グループリーダー・コミュニティソーシャルワーカー(CSW)より奇数月の第 2 水曜日に地区での実践(地域づくり・まちづくり)の進捗状況の報告を受け、地域課題や進め方について社協内で課を越えて横断的に協議・情報交換等を行うことで、各地区でのコミュニティソーシャルワーカーの推進を図りました。

### ③地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

#### ア) 地区研修会（地区社協と協力して実施）

「見守りについて」「なごやか寄り合い事業立ち上げについて」等、各地区で研修会を開催しました。

#### イ) 第 6 次地区福祉活動計画策定に向けての研修会

地区社協関係者等を対象に、第 6 次地域福祉活動計画策定に向けて、松江市の現状を把握、地域の姿などを理解・共有し、生活課題解決に向けての計画づくりに取り組むための研修を 4 回実施しました。詳細は P25「松江市地区社会福祉協議会及び福祉推進員代表者会

研修」をご覧ください。

ウ) 地区活動の支援

各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について振り返りなどを行いながら実践につなげました。

エ) 民生児童委員協議会への参加

毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

④地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、各地区社協が実施する地域福祉事業の経費を一部助成することで、地区社協活動を支援し地域福祉の推進に寄与しました。

ア) 必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ) 重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

事業名等	内 容	地区数	金 額
必須事業	1 地区社協 100,000 円	29 地区	2,900,000 円
重点・選択事業	1 地区社協 300,000 円	29 地区	8,433,000 円
合計			11,333,000 円

◆重点・選択事業の内容一覧

地区名	重点事業	選択事業
松東エリア	①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 川津地区推進隊) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの推進	①福祉の集い&チャリティー古本市 ②広報活動 ③子育て支援事業
	①健康まつえ 21 推進隊活動 ②介護予防の健康づくり活動	①子育て支援事業 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	①健康まつえ 21 推進事業 ②民生児童委員・福祉推進員合同研修 ③子ども居場所づくり事業	①なごやか寄り合い事業

地区名		重点事業	選択事業
	持田	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①配食サービス ②やすらぎ喫茶事業
	島根	①健康まつえ 21 推進事業	①福祉計画 ②地域ボランティア活動
	美保関	①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 計画の推進) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの 推進	①子育て支援活動 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活 動
	八束	①健康まつえ 21 推進事業 ②高齢者ふれあい事業「まめだ会」	①ふれあい訪問 ②子育て支援事業 ③地域交流サロン
中央 エリア	城北	①健康づくり活動の推進	①障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ②ミニデイサービス<お楽しみサロン>の 開催 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活 動
	城西	①健康づくり活動の推進 ②社会的孤立の予防・居場所づくりの 推進	①ふれあい会食サービス・ミニデイの開催 (なごやか寄り合い) ②子育て支援活動
	城東	①健康づくり活動の推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①防災に関する事業 ②子育て支援活動 ③地域福祉計画推進事業
	白湯	①健康づくりの推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進事 業	①友愛訪問事業 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③なごやか寄り合い事業 ④福祉だよりによる広報啓発活動事業 ⑤子育て支援 図書寄贈事業
	朝日	①健康づくり活動の推進(健康まつえ 21 計画の推進) ②地域で支え合い閉じこもり予防・介 護予防の推進を図る ③社会的孤立の予防事業	①地域ふれあい活動 ②地区関係者合同研修 ③情報誌の発行

地区名		重点事業	選択事業
	雑賀	①健康づくり事業 ②地域の支え合いづくり事業 ③ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会)	①公民館喫茶憩い館 おでかけミニデイサービスときわ
松北エリア	古江	①健康づくり事業 ②なごやか寄合い支援事業	①古江給食サービス
	秋鹿	①なごやか寄り合い	①高齢者すこやかふれあい大会 ②そよかぜ交流会・弁当配食 ③買い物支援 ④地区地域福祉活動
	大野	①健康づくり活動の推進(健康講座) ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業) ②配食サービス ③お年寄りとの交流事業(愛のプレゼント交流) ④きらきら学級(乳幼児学級) ⑤社協だよりの発行
	法吉	①健康づくり事業 ・ほつき健康福祉まつり開催 ・健康ウォーキング開催 ・室内ニュースポーツ体験 ②認知症対策事業 ・認知症セミナー開催 ③子育て支援事業 ・乳幼児学級「ひよこ学級」支援	①各自治会に福祉対策支援事業 ・世代間交流事業 ・先進地視察 ・敬老感謝(小学生から手紙) ・とんどさん交流 ・七夕まつり開催 ・ちまき作り
	生馬	①元気で長生き道場 ②子育て支援(社会的孤立の予防) ③高齢者いきいき事業(社会的孤立の予防)	①高齢者世帯及び身障者の福祉調査 ②配食サービス ③町内ミニデイサービス ④年末見舞い(友愛訪問) ⑤情報誌の発行
	鹿島	①鹿島地区健康づくり事業 ②かしまほっとクラブ～鹿島地区男性介護者交流会～ ③なごやか世話人活動支援事業	①鹿島地区子育て支援事業 ②広報誌の発行

地区名		重点事業	選択事業
松南1エリア	津田	①こころとからだの健康づくりの推進	①ボランティア喫茶 ②友愛訪問 ③つだ社協だより
	大庭	①ふれあい運動会（スポーツ大会） ②高齢者福祉講座・研修会・健康講座 ③閉じこもり予防活動・友愛訪問	①巡回相談室（巡回お悩み相談室） ②あそび広場 ②ふれあい会 ④「おおば福祉だより」の発行
	古志原	①安全安心見守り事業 ②介護予防・健康推進事業	①福祉ネットワーク事業 ②広報事業
松南2エリア	竹矢	①健康づくり ②介護・生活習慣病予防講座	①子育て支援事業 ②ボランティア養成事業
	八雲	①健康づくり活動の推進 （八雲地区健康まつえ 21 推進隊事業）	①給食サービス
	東出雲	①健康まつえ 21 推進事業 ②なごやか寄り合い研修会事業	①高齢者安否確認事業
湖南エリア	乃木	①男の料理教室 ②乃木さんあい健康教室	①地域福祉事業 ②ふれあい弁当サービス
	忌部	①情報交換会・生活支援会議 ②健康忌部 21 推進隊保健協力員・福祉推進員研修会 ③こうみんかん喫茶 ④健康フェスティバル	①すこやか交流会 ②年越しそば配食サービス・見守り活動の充実 ③忌部地区第五次地域福祉計画に基づく諸研修
	玉湯	①健康づくり活動の推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①配食・会食サービスの実施 ②子育て支援事業
	宍道	①「ちょっこし動いて楽しま会」事業	①いきいき元気クラブ （転倒予防・認知症予防・介護教室）

#### ⑤地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として地区社協会長会（2回開催）・幹事会（2回）の開催に協力しました。

◆研修事業

事業名等	内容
<p>新任会長学習会</p>	<p>●日時 令和4年12月2日(金) 13:00～16:30            会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室            参加者 新任会長および地区社協会長経験3年未満の会長 11名            内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社会福祉協議会の目的について</li> <li>・会長の任務について</li> <li>・松江市社会福祉協議会について</li> <li>・地区活動計画と市計画について</li> <li>・地区社協の財源について</li> <li>・すこやかライフ推進事業について</li> <li>・福祉推進員について</li> <li>・なごやか寄り合い事業について</li> <li>・地区の活動内容について</li> <li>・各地区のCSWの地域づくり活動について</li> </ul> <p>講師 会長会会長 (朝日地区会長) 菖蒲 周一 氏            会長会副会長 (乃木地区会長) 坂本 俊雄 氏            会長会幹事 (八雲地区会長) 須山 佐智美 氏</p>
<p>松江市地区社会福祉協議会及び福祉推進員代表者会研修            【全体研修会】</p>	<p>●日時 令和4年12月22日(木) 13:15～15:30            会場 島根県民会館 多目的ホール            参加者 地区社協会長・福祉推進員代表者・公民館職員等 77名            内容 基調講演            「福祉でつなぐ人と地域            ～持続可能な共生の地域づくりをどう進めるのか～」            講師：鳥取大学 地域学部 地域学科 地域創造コース            教授 竹川 俊夫 氏</p>
<p>第1回</p>	<p>●日時 令和5年1月12日(木) 13:15～16:20            会場 島根県民会館 大会議室            参加者 地区社協会長・福祉推進員代表者・公民館職員等 86名            内容</p> <p>報告①「松江市の福祉の現状について」 (松江市健康福祉総務課)            報告②「地域包括支援センターから高齢者の現状について」            (松江市社会福祉協議会地域包括ケア推進課)            報告③「くらし相談支援センターからの報告」            (松江市社会福祉協議会生活支援課)</p>

事業名等	内容
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年2月9日(木) 13:15~16:50</li> <li>会場 島根県民会館 大会議室</li> <li>参加者 地区社協会長・福祉推進員代表者・公民館職員等 89名</li> <li>内容</li> <li>報告④「子どもを取り巻く現状について」(松江市子育て政策課)</li> <li>報告⑤「権利擁護支援について」(松江市社会福祉協議会生活支援課)</li> <li>報告⑥「松江市の防災について」(松江市防災危機管理課)</li> <li>報告⑦「松江市の障がいを取り巻く状況について」 (松江市障がい者基幹相談支援センター絆)</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年2月20日(月) 13:15~15:50</li> <li>会場 島根県民会館 大会議室</li> <li>参加者 地区社協会長・福祉推進員代表者・公民館職員等 91名</li> <li>内容</li> <li>報告⑧「不登校問題等について」(松江市教育委員会)</li> <li>報告⑨「なごやか寄り合い事業について」 「松江市の子ども食堂の現状について」 (松江市社会福祉協議会地域福祉課)</li> <li>説明 「第6次地区地域福祉活動計画策定の手引き(案)について」 (松江市社会福祉協議会地域福祉課)</li> </ul>
第14回 松江市社・公・自三団体合同研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年3月9日(木) 16:00~</li> <li>場所 ホテル白鳥 3階 鳳凰の間</li> <li>参加者 28名</li> <li>内容 【講演会】 「MATSUE 観光戦略プラン 2023-2029」について 講師 松江市長 上定 昭仁 氏</li> </ul>

#### ⑥福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました。

##### ◆代表者会・研修会

事業名等	内容
幹事会・代表者会 第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年9月15日(木) 幹事会 10:00~10:45 代表者会 11:00~11:45</li> </ul>



事業名等	内容
幹事会・代表者会 第1回（続き）	会場 城西公民館 交流ホール 出席者 幹事会 7名 代表者会 21名 内容 ・令和4年度福祉推進員代表者会役員体制【案】について ・令和3年度事業報告について ・令和4年度事業計画【案】について
幹事会 第2回	●日時 令和4年11月24日（木）9:45～10:30 場所 松江市総合福祉センター 4階 教養室 出席者 幹事 5名 内容 ・令和4年度下期の事業計画（研修会開催等）について ・「新聞配達員による見守り活動に関する協定」について
幹事会 第3回	●日時 令和5年3月16日（木）10:00～11:00 場所 松江市総合福祉センター 4階 教養室 出席者 幹事 6名 内容 ・令和4年度事業報告について ・令和5年度事業計画【案】について

### ⑦福祉推進員研修会

#### ア) 福祉推進員（初任者）全体研修会の開催

新任の福祉推進員及び再任の福祉推進員を対象に、活動事例発表や講演会を通して実際の福祉推進員の役割や人と人とのつながりづくりの重要性について学び、今後の実践活動に活かしていただくことを目的に開催しています。今年度は、先進事例として美保関地区菅浦手助す一隊の取り組みおよび東出雲地区・古江地区・法吉地区における福祉推進員活動の実践報告を実施しました。

#### ◆福祉推進員福祉推進員全体（初任者）研修会

事業名等	内容
福祉推進員全体 （初任者）研修会	●日時 令和5年1月14日（土）10:30～12:00 会場 くにびきメッセ 601 大会議室 参加者 福祉推進員他 111名 内容 ・菅浦手助す一隊の取り組みについて 代表 小林 邦彦 氏 ・福祉推進員活動事例発表 ①東出雲地区：東出雲地区福祉推進員会 会長 西山 正之 氏 ②古江地区：古江地区福祉推進員会 会長 川谷 実 氏 ③法吉地区：法吉地区福祉推進員会 会長 野々村 正幸 氏 野々村 恵 氏

イ) 福祉推進員ブロック研修会の開催

各エリア別にわかれ、コロナ禍において実際に松江市社協で支援をした事例を通して、生活困窮者支援について学ぶとともに、誰もが安心して暮らせるまちを実現するために「わたしたちには何ができるのか」を考えることを目的に開催しました。

事業名等	内容
中央ブロック 城西・城東・城北・ 白潟・朝日・雑賀	●日時 令和5年1月26日(木) 10:00～11:30 会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 参加者 福祉推進員 12名
松東ブロック① 川津・朝酌・本庄・ 持田	●日時 令和5年2月13日(月) 13:30～15:00 会場 川津公民館 参加者 福祉推進員 24名
松東ブロック② 島根・美保関・八束	●日時 令和5年2月3日(金) 13:30～15:00 会場 美保関公民館 参加者 福祉推進員 14名
松北ブロック① 法吉・生馬・鹿島	●日時 令和5年2月8日(水) 13:30～15:00 会場 鹿島公民館 参加者 福祉推進員 15名
松北ブロック② 古江・大野・秋鹿	●日時 令和5年2月10日(金) 10:00～11:30 会場 古江公民館 参加者 福祉推進員 10名
松南第1ブロック 津田・古志原・大庭	●日時 令和5年2月21日(火) 13:30～15:00 会場 大庭公民館 参加者 福祉推進員 13名
松南第2ブロック 竹矢・八雲・東出雲	●日時 令和5年2月7日(火) 13:30～15:00 会場 竹矢公民館 参加者 福祉推進員 23名
湖南ブロック 乃木・忌部・玉湯・ 宍道	●日時 令和5年2月14日(火) 13:30～15:00 会場 サンライフ松江 参加者 福祉推進員 11名

事業名等	内容
研修会共通	内容（共通） ・説明「コロナ禍での生活困窮者の実態とその支援」 （松江市社会福祉協議会生活支援課） ・ロールプレイ～事例をとおして考えよう～ 8050事例およびひとり親世帯の事例をもとにロールプレイを実施 ・ふくしなんでも相談所について（情報提供）

### ⑧あったかスクラム事業の支援

松江市内 11 会場で実施されている「あったかスクラム事業」（障がいのある子どもの地域活動、その親の会活動支援）関係者の情報交換を目的に「あったかスクラム代表者会」を開催しました。コロナ禍となって初めての開催となり、コロナ禍での活動について情報交換することができました。

事業名等	内容
あったかスクラム代表者会	●日時 令和 5 年 2 月 9 日（木）10:00～11:30 会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 あったかスクラム代表者（古志原・乃木）、地域福祉課職員 5 名 内容 ・あったかスクラム事業事務局体制について ・「2023 松江市健康福祉フェスティバル」ブース出展について ・情報交換

### ⑨生活再建おうちクリーニング事業

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身の整理整頓、衛生的な生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を実施し、自立に向けた支援を行う事業です。令和 4 年度の利用はありませんでしたが、個々の状況に応じた相談支援を行いました。

年度	利用者数
R4 年度	0 件
R3 年度	1 件
R2 年度	2 件

## 2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

### ①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談・問合せ件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R4年度	780件	3,022件	1,308件	292件	5,402件
R3年度	933件	2,862件	1,607件	303件	5,705件
R2年度	1,530件	3,851件	2,752件	59件	8,192件

◆契約締結人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R4年度	169名(2)	151名(2)	104名(1)	9名(0)	433名(5)
R3年度	167名(1)	149名(1)	103名(2)	9名(0)	428名(4)
R2年度	163名(3)	148名(8)	101名(3)	9名(4)	421名(18)

( ) 内は年度内契約件数

◆現在の実利用人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R4年度	11名	74名	24名	4名	113名
R3年度	13名	78名	29名	4名	124名
R2年度	16名	81名	31名	5名	133名

「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R4年度	64名	41名
R3年度	59名	36名
R2年度	60名	36名

◆生活支援員研修会

内 容	期日	人数
権利擁護支援者交流会（市社協主催）	8月26日	14名
日常生活自立支援事業生活支援員研修会（県社協主催）	9月26日	15名

## ②法人成年後見事業

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。法人後見事業は、社会福祉法人松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、ご本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人成年後見事業の推移 死亡ケース含まず（年度末時点）

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R4年度	15件 (後見10・保佐3・補助2)	12件 (後見7・保佐5)	2件 (後見2)	29件
R3年度	14件 (後見11・保佐2・補助1)	7件 (後見3・保佐4)	3件 (後見3)	24件
R2年度	8件 (後見8)	4件 (保佐1・後見3)	3件 (後見3)	15件

◆法人後見支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R4年度	14人	9人
R3年度	9人	8人
R2年度	3人	3人

## 3. ボランティア活動及び福祉教育

### 3-(1) コーディネート機能強化

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

登録ボランティア分類	R4年度	R3年度	R2年度
個人ボランティア	136名(14)	122名(7)	139名(9)
団体ボランティア	94団体(5)	90団体(5)	99団体(5)

( ) は新規登録者（団体）数

◆ボランティアの斡旋実績

利用状況	R4年度	R3年度	R2年度
派遣依頼数(Zoom 配信依頼数)	48件(0)	54件(1)	35件
派遣団体数	25団体	26団体	11団体
個人ボランティア延派遣者数	23人	23人	27人

利用状況	R4 年度	R3 年度	R2 年度
コーディネート数(マッチング回数)	48 件	50 件	35 件
キャンセル・該当者なし	0 件	5 件	5 件

◆相談機関・団体等との連携推進

個別支援の対応として、個人登録者・ゆうあいヘルプ・松江市くらし相談支援センター・地域包括支援センター・各エリアの CSW や市等の関係機関と連携しボランティアのコーディネートを行いました。

また今年度は新たに、松江工業高等学校の「地域企業・地域住民と協働することにより、地域産業の発展に寄与できる心豊かな技術者育成を目標とした課題研究としての取り組み」の一環として実施された車いすの点検・修理に協力しました。

○団体との協同

松江刑務所：社会貢献作業としてのシトラスリボンプロジェクトへの取り組み

今年度は 9 月 17 日、18 日に開催された第 30 回松江地区矯正展において、取り組みについての紹介やシトラスリボンの制作体験を実施。

松江赤十字病院：シトラスリボンプロジェクト・各種啓発リボン運動への取り組み

絵手紙サークルで作成された絵手紙を、ボランティアセンターを通じて病院へ寄付。入院中の方と家族や友人との交流の一助として、またリハビリ中の方の訓練の一環として活用。

3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティア活動の基本的知識、取り組む姿勢の育成・養成を行いました。

①育成研修

①-1 サマーチャレンジボランティアについてはコロナウイルス感染拡大のため、受け入れを依頼する施設側の状況や学校の状況を鑑み開催が難しいと判断し、中止しました。

①-2 あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア) あいサポート運動の啓発

「ボランティアセンターだよりつなぐ 18 号」の紙面にて紹介しました。

イ) あいサポーター研修の受付・推進

企業、団体等に対してメッセージを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・26 団体 38 回 受講人数・・・1,555 人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	4	地域住民	3
中学校	1	行政関係	1

団体種別	団体数	団体種別	団体数
各種学校	6	その他	3
企業	8	合計	26

ウ) あいサポートメッセージの登録・活動継続の意思確認

◆メッセージ登録者数

R4年度	R3年度	R2年度
171名	154名	155名

②養成研修

②-1 ボランティア入門講座の開催（くらし安心サポートセミナーを兼ねて開催）

開催日：令和4年10月14日(金)

会場：松江市総合福祉センター4階 教養室

参加者：5名（修了者：5名）

②-2 介護の入門的研修

開催日：令和4年10月19日(水)～24日(月)

会場：松江市総合福祉センター4階 教養室

参加者：11名（修了者：11名）

3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放、備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

利用状況	R4年度	R3年度	R2年度
実利用日数	196日	151日	116日
延べ利用団体数	226団体	177団体	134団体
延べ利用人数	744名	973名	477名

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

貸出機材	R4年度	R3年度	R2年度
印刷機	68件	71件	54件
コピー機	37件	50件	12件
車椅子	73件	73件	52件
アイマスク	1件	3件	4件
その他（高齢者疑似体験セット・スクリーン等）	39件	48件	32件

◆ボランティア保険の加入促進

ボランティア保険種類	R4年度	R3年度	R2年度
ボランティア活動保険（基本）	6,615名	6,450名	6,087名
（天災・地震補償）	342名	397名	415名
（特定感染症重点）	175名	—	—
ボランティア行事用保険	1,461件	1,308件	348件
福祉サービス総合補償	9件	8件	16件
送迎サービス補償	3件	4件	4件

※事故取扱件数7件

②ボラカフェの開催

ボランティアをしたいけど、何をしたいかわからない。一歩を踏み出したいという人のきっかけづくりとして、古切手整理の軽作業を実施しました。

○開催日：毎月第4木曜日 14:00～15:30

○回数：12回

○参加実数：延べ143名

③おうち de ボランティアの実施

ア)古切手整理・ウエス切り

コロナ禍において人との関りや外出を控えている方を対象に家庭でできる活動として実施しました。

○参加：古切手整理 4件 ウエス切り 1件

イ)趣味・特技編

活動の機会や出演の機会が少なくなっている個人・グループ・団体とそれらの受け入れが難しくなっている施設・なごやか会等をつなぐ試みとして、DVDの貸出しや、リモート配信について、ホームページへの掲載などによって案内、周知を行いました。

○参加呼びかけに対する登録：3グループ・4個人

④松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

ア)松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

分類	R4年度	R3年度	R2年度
健康・福祉・まちづくり	29団体	29団体	32団体
子ども・青少年・人権	21団体	20団体	22団体
文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報	23団体	24団体	32団体
計	73団体	73団体	86団体



イ) 主な活動

- ・機関紙の発行：第 42 号
- ・松江城・街美化ウォークの開催：令和 4 年 6 月 11 日(土)開催
- ・おもちゃの寄贈 玩具メーカーのハズブロ社が行っている Toy・ドネーション (おもちゃ寄贈の社会貢献活動) に当連絡協議会が応募し受取った寄贈品を、松江市社会福祉協議会や、市内子ども関連施設、子ども食堂活動団体等へ寄贈しました。
- ・第 15 回記念松江市ボランティアフェスティバル (2023 松江市健康福祉フェスティバルと合同開催)

開催

- ・出雲市ボランティアセンターとの交流会：令和 4 年 11 月 9 日(水)開催
- ・各種会議の開催：役員会 5 回、運営委員会・総会 書面審議  
松江城・街美化ウォーク 打合せ会 3 回実施

⑤企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

- ア) 加入者数：企業会員 63 企業、個人会員 64 名
- イ) 企業ボランティア松江ネットワーク会議総会・研修会の書面決議での開催
- ウ) 美化活動、水燈路の行燈の審査・表彰授与
- オ) 機関紙の発行 NO.38 R4.2 月発行

⑥松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援

- ア) 幹事会の開催  
新型コロナウイルスの感染状況を鑑み開催しませんでした。
- イ) 総会の開催 令和 5 年度総会時に併せて実施予定
- ウ) 松江市社会福祉法人連絡会活用サポートガイドの活用
  - ・講師派遣事業：16 法人 21 施設
  - ・物品機材等貸出し事業：24 法人 33 施設
  - ・実績：物品・機材等貸出し事業 2 件
- エ) 情報発信
  - ・機関紙『ワンラブ通信』の発行(令和 4 年 9 月、12 月)
  - ・市社協ホームページでの情報提供
- オ) ふくしなんでも相談窓口の設置
  - ・令和 4 年 4 月 1 日設置 9 法人 20 事業所  
対応件数 10 件 (内、なんでも相談所へつないだ件数 4 件)

⑦松江市建築組合青年部ボランティア活動の支援

地域で生活する一人暮らし高齢者・障がい者世帯の在宅での生活を支援するとともに、活動を通じて地域の方々に大工仕事の重要さを知っていただき、様々な人との交流を深めることを目

的として実施されました。

松江市社会福祉協議会内の相談機関を通して対象者の把握を行い、6件の申し込みを受け付け下見を行い、うち5件について活動が実施されました。

- ・下見 令和4年8月25日(木) 1件は下見の際に作業完了
- ・活動日 令和4年9月25日(日) 組合より8名参加、4班に分かれて活動

### 3-(4) ふくし教育の推進

ふくし教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

ア) 福祉学習推進の支援(講師派遣数)

区分	R4年度	R3年度	R2年度
学校関係	24回	14回	8回

イ) 介護の基礎的講座普及モデル事業の推進

中学校学習指導要領の改定において、高齢者など地域の人々と協働する必要性や介護など高齢者との関わりを実践的に学ぶことが規定されたことに伴い、中学校において「福祉の心」を育む教育を推進するとともに、高齢者や介護に関する興味・関心を醸成し、将来の進学または職業選択の一助とすることを目的として、講義や体験的な活動等を実施しました。

講師については、老施協の協力を得て、介護現場で高齢者を第一線で支える介護施設職員を「介護の仕事コンシェルジュ」として派遣しました。

#### ◆介護の仕事コンシェルジュ登録者数

10法人、13施設、45名

#### ◆実施状況

区分	R4年度	R3年度	R2年度
実施校数	6校	5校	4校
人数	597名	554名	508名
実施回数	8回	9回	11回

ウ) 「ふくしの学び合い」推進

市町村社協が学校・公民館・社会福祉施設・企業・団体などと連携して行う「福祉学習プログラム」を活用した研修事業等を目的とした島根県社会福祉協議会の補助事業を受け、社会福祉法人等との連携と協力を得てコロナ禍においても実施できるプログラムや教材の検討を行いました。合わせて、地域におけるプラットホームづくりに対する助成を受け事業を実施しました。

#### ◆もんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～の作成

「ふくし教育」を進めていくためのポイントやSDGsの視点を取り入れた実践プログラム集や申込書等を掲載したもんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～を活用し、学校等で実践を行いました。

エ) しまね流ふくし教育推進モデル事業への取り組み

島根県社会福祉協議会から指定を受け、市内の協力校において、身近な「社会福祉問題」をテーマに、地域の特色を活かした体系的なふくしの学びのカリキュラムを、学校と協同して実践しました。

- 協力校：松江市立竹矢小学校 4 年生 50 名
- テーマ：共に生きる まちのやさしさに気づこう
- 学習プログラム：車いすユーザーとの交流、車椅子体験、あいさポーター研修、施設訪問（なにわー水見学）、ふくしについての講話、まち探検（通学路から知る防災とバリアフリー）

### 3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

ホームページの充実や情報誌の発行及びボランティアの相談受入の充実につとめました。

- ◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」年 3 回(7 月・12 月・3 月)発行しました。
- ◆ホームページやフェイスブックを通じ情報提供に努めました。
- ◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ等受付）

区 分	R4 年度	R3 年度	R2 年度
受付件数	125 件	157 件	70 件

今年度から使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を通じて、プラスチックごみの削減や環境問題を意識してもらうことを目的とした「アイシティ eco プロジェクト」に賛同し、回収 BOX を設置しました。

- ◆松江市ボランティアフェスティバルは、2023 松江市健康福祉フェスティバルと合同開催しました。

- ◆くにびき学園出合いの広場へ出展し活動の PR を行いました。

- 日 時：令和 4 年 6 月 14 日（火）
- 会 場：いきいきプラザ島根 1 階体育館
- 主 催：島根県社会福祉協議会（くにびき学園東部校）・島根県
- 参加者：30 数名（くにびき学園生・OB、活動に関心のある人、地域団体）

### 3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施

市の委託事業として、65 歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

区 分	R4 年度	R3 年度	R2 年度
個人登録者数	96 名	97 名	98 名
団体(なごやか寄り合い)登録数	206 団体	208 団体	222 団体
受入施設登録数	46 施設	46 施設	46 施設

### 3-(7) 各種大会・イベントへの参加・協力

#### ①世界網膜の日 in 山陰

ボランティア募集及び事前研修会の実施について支援を行いました。

- 日 時：令和4年9月23日(金)～24日(土)
- 主 催：公益社団法人日本網膜色素変性症協会
- ボランティア派遣人数：27名
- 事前研修会：令和4年7月27日(水)・31日(日) 各2回開催 参加者22名

#### ②第25回日本ボランティア学習学会

実行委員として参加、学会運営及び会場提供などの協力を行いました。

- 日 時：令和4年11月26日(土)～27日(日)
- 会 場：いきいきプラザ島根、松江市総合福祉センター及びZoomにて配信
- 主 催：日本ボランティア学習協会・第25回日本ボランティア学習学会島根大会  
実行委員会
- 内 容：基調講演、記念シンポジウム、分科会などの開催
- 参加者：249名

## 4. 在宅生活支援事業の推進

### 4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

#### ①地域包括支援センター事業の推進

##### 【地域包括ケア推進課】

地域包括支援センターに全世代を対象としたふくしなんでも相談窓口を設置し、障がいのあ  
る方や子ども、生活困窮者などの複雑・複合化した相談を受けとめるワンストップ窓口としての  
機能の充実をめざし取り組みました。

処遇困難なケースの中には身寄りがいない、親族の支援が受けられないために施設入所や入  
院手続きなどに担当のケアマネジャーや包括相談員が対応に苦慮しているケースがあり、昨年度  
作成した「支援者のための松江市身寄りのない方への支援ガイドライン」の周知を図るため研修  
会を開催しました。

また、8050問題を抱える世帯の中には、引きこもり、社会的な孤立等の課題が松江市でも多  
く見られるようになりました。地域住民や関係者への啓発として社会的孤立を考えるシンポジ  
ウムを開催し、生きづらさを抱える方から報告を受け、社会的孤立を考えるきっかけとなりまし  
た。

また、近年各地で豪雨による水害や土砂災害が多発しており、災害に備えて民生児童委員、  
福祉推進員、ケアマネジャー等を対象に地域で合同研修会の開催や、ケースを通して事前に避難  
場所や避難方法を地域の方やケアマネジャーとともに確認を行いました。

#### ■重点事業

ア) 総合相談業務

- ふくしなんでも相談所のチラシを民生児童委員、福祉推進員、医療機関・金融機関・商店・コンビニ・お寺・商店などに配布しました。また、17 会場で出張なんでも相談を行いました。
- チラシ配置を配布し見守りの協力を依頼したスーパーや不動産会社からのお客様についての相談を受けて支援につながりました。
- ふくしなんでも相談協力薬局からも、3 ケース相談対応の依頼がありました。
- 相談実利用者数 3,019 人、相談延べ件数 17,804 件とも年々増加しています。
- 支援や関わりを拒否されひきこもりの方に対して CSW とともに訪問を行いました。

イ) 権利擁護業務

- 虐待通報件数が 64 件(内新規ケースが 40 件)あり、のべ対応回数は 360 回でした。「松江市高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて、すみやかに市と協議し、介護支援専門員・主治医・サービス事業所等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。
- 虐待・困難事例で包括での対応が困難な 2 件のケースに対して、精神科医師や発達障がい者支援センター相談員から助言をいただき対応しました。
- 身寄りのない人への支援のガイドラインを松江市内の関係機関に 1,500 部配布しました。またガイドラインの研修会を YouTube 配信で開催し 196 回線の視聴がありました。
- ブロック連絡会で「高齢者施設虐待防止について」の研修会を会場と Zoom で開催し、虐待防止の周知を図りました。
- 認知症などにより判断能力が低下した方の支援として市長申し立てを 8 件要請し、親族申し立て 16 件支援しました

ウ) 介護予防ケアマネジメント業務

- 松江市住民主体の通所サービス（通所 B）について新規の 3 か所の立ち上げ支援を行いました。また社協ホームページの高齢者お役立ち情報へ総合事業の掲載を行い、地域の研修会で総合事業について周知しました。
- 地域で開催された健康教室やなごやか寄り合い（33 会場）の参加者や、実態把握訪問をした方 合計 924 名に対して、通いの場への参加継続やフレイル予防、免許返納に関する注意等の啓発を行いました。総合相談も同様に、チラシを活用しながらフレイル予防や通いの場を紹介しました。その結果、241 名が公民館などで開催している「からだ元気塾」に新たにつながりました。
- 松江市保健師が実施したフレイルチェックで 8 点以上の方 21 名に対して個別訪問を行いました。地域の活動の場への参加や介護予防教室への参加の声掛けをした。

エ) 包括的・継続的ケアマネジメント

- 免許返納に関するパンフレットを作成し、個別の相談のほかに、地域でのなごやか寄り合い、公民館カフェ、高齢者の集い、オレンジカフェ等で説明し配布しました。また、本庄地区では地区社協から全戸配布されました。
- 各包括の災害時業務継続計画（BCP）を作成し、各包括内での周知を行いました。

○令和 3 年度から市の委託事業として GPS 端末機を貸出し、新規利用者 12 名、継続利用者 15 名に貸し出し、累計 47 名が利用されました。

○認知症見守りシール事業では、今年度 54 名の方より申請があり、令和 4 年 3 月から累計で 96 名にシールを配布しました。未帰宅高齢者の発見時 2 名の方に活用され、令和 4 年 10 月から、本格始動になりました。

○イオンやみしまや、A コープなどの商店 47 店舗に、高齢者の見守り協力依頼をしました。従業員の皆さんに認知症の理解や対応についての動画視聴や SOS 見守りネットワーク協力者登録、高齢者見守り協力店スイングポップや包括周知チラシの配布をしました。

○中央郵便局のデジタルサイネージを活用し認知症見守りネットワークの周知を図りました。

○SOS 見守りネットワークのメール受信登録者数が 1,375 名になり、昨年度より微増となりました。

○災害時に避難困難な高齢者の安全な避難が出来るように民生児童委員、ケアマネジャーとの意見交換会・研修会を 13 回開催し、延べ 423 人の参加がありました。

オ) 地域ケア会議の開催

○松江市個別地域ケア会議を年 12 回開催し、計 72 事例を検討し、自立に向けた個人の状態の改善、重度化防止の対策について取り組みました。

○松江市個別地域ケア会議の評価会議を 2 回開催し、56 事例を評価しました。また、事例集の第 2 版を作成し、社協ホームページや事業所へのメールで周知しました。

○ケアマネジャー・助言者向けの研修会開催を YouTube 配信と Zoom 配信で 2 回開催しました。

◆相談件数

区 分	相談件数		相談実利用者		介護予防ケアマネジメント及び 予防給付管理 プラン数(3月末)		ケアマネジャー 支援	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
中央地域包括	<b>3,363</b>	3,068	<b>566</b>	516	<b>618</b>	624	<b>47</b>	13
松北地域包括	<b>3,369</b>	2,792	<b>508</b>	518	<b>476</b>	506	<b>25</b>	38
松東地域包括	<b>2,820</b>	3,117	<b>495</b>	514	<b>575</b>	549	<b>70</b>	69
湖南地域包括	<b>3,045</b>	3,129	<b>471</b>	453	<b>491</b>	500	<b>83</b>	87
松南第 1 地域包括	<b>3,301</b>	3,430	<b>567</b>	567	<b>577</b>	594	<b>62</b>	142
松南第 2 地域包括	<b>1,906</b>	2,065	<b>412</b>	394	<b>379</b>	375	<b>43</b>	46
計	<b>17,804</b>	17,601	<b>3,019</b>	2,962	<b>3,116</b>	3,148	<b>330</b>	395

◆虐待困難事例検討会

事業名等	内 容
虐待困難事例検討会	<p>●日時 随時開催</p> <p>内容 包括での対応が困難な事例について、専門職からの助言をいただき、その後の支援に活かす。</p> <p>助言者 精神科医師、発達障害者支援センター相談員</p> <p>検討事例 2事例</p>

◆公開講座

事業名等	内 容
公開講座 第1回	<p>地域共生シンポジウム「社会的孤立と 8050 問題を考える」</p> <p>●日時 令和5年1月21日(土)13:30~16:00</p> <p>内容 【講演会】</p> <p>「社会的孤立と 8050 問題」 講師 ジャーナリスト、KHJ 全国ひきこもり家族会連合会理事 池上 正樹氏 (講師は Zoom にて参加)</p> <p>【シンポジウム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市社会福祉協議会からの報告 「松江市くらし相談支援センターにおける相談支援の状況について」 報告者 生活支援課 広野 歩</li> <li>「8050 世帯の事例報告」 報告者 地域包括ケア推進課 奥原 宏幸</li> <li>・当事者からの報告 「私が生きづらいと思ったこと」 報告者 足立 祐輔 氏</li> </ul> <p>参加者 93名 内訳 会場 松江市福祉センター 40人、川津公民館 14人 Zoom 視聴 19人、YouTube 視聴 20人 ※社協ホームページにて、YouTube 視聴希望者限定配信 配信期間 令和5年1月24日(火)~ YouTube 視聴 再生回数 199回(R5.3.31 現在)</p>
第2回	<p>「災害対策、BCP 及び個別避難計画作成について ~私たちの果たすべき役割と地域課題について考える~」</p> <p>●日時 令和5年1月23日(月)14:00~15:30 Zoom 開催</p> <p>内容 ・ケアマネ協会からの報告 「災害に関するケアマネアンケート調査結果報告」</p>

事業名等	内 容
第 2 回 (続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市健康福祉総務課からの説明 「松江市避難行動要支援者支援事業、要配慮者支援推進事業について」</li> <li>・地域包括支援センターからの説明 「地域包括センターの BCP 紹介等」</li> <li>・東出雲公民館運営委員からの報告 「地域の災害時避難訓練を報告」</li> </ul> <p>参加者 介護支援専門員 65 名 ※松江地域介護支援専門員協会と共催</p>
第 3 回	<p>「身寄りがない人の支援ガイドライン研修」</p> <p>●日時 令和 5 年 2 月 22 日(水) 13:30～15:30</p> <p>内容 【講演会】 『『身寄り』問題の解決に挑む』 講師 NPO 法人「つながる鹿児島」代表理事 しばた司法書士事務所 司法書士 芝田 淳 氏</p> <p>【シンポジウム】 テーマ 「身寄りがない人の課題を考える」 司会 岡崎法律事務所 弁護士 鳥居 竜一氏 助言者 しばた司法書士事務所 司法書士 芝田 淳 氏 報告者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の立場から 松江圏域老人福祉施設協議会 副会長 武部 幸一郎 氏</li> <li>・病院の立場から 松江赤十字病院医療社会事業部医療社会事業課 課長 奥 公明 氏</li> <li>・支援者の立場から 松江地域介護支援専門員協会 会長 岡田 昌治 氏</li> </ul> <p>参加者 当日 YouTube ライブ視聴 196 回線 ※社協ホームページで YouTube 視聴希望者限定配信 令和 5 年 4 月～</p>

◆ブロック連絡会

事業名等	内 容
ブロック連絡会 第 1 回	<p>●日時 令和 4 年 10 月 20 日(木) 10:00～11:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター大ホール、Zoom 開催</p> <p>内容 「高齢者虐待防止の理解」 岡崎弁護士事務所弁護士 鳥居 竜一 氏</p>



事業名等	内 容
第1回（続き）	「施設虐待について」 島根県社会福祉士会 出雲 あかり 氏 参加者 会場 28名、Zoom 視聴 146名 ※視聴希望者限定(R4.11.16~R5.1.3) YouTube 配信再生回数 153回
第2回	●日時 令和5年1月18日(水) 13:30~15:00 会場 法吉公民館、Zoom 開催
第2回（続き）	内容 介護支援専門員向け研修会～法吉地区の災害時支援事業を学ぶ～ 「法吉地区の災害時支援事業(おねがい会員、まかせて会員)」 の取り組み 「ほっき福祉ネットワーク」活動紹介 法吉地区社会福祉協議会 会長 平田 寛容 氏 法吉地区民生児童委員協議会 会長 金築 育代 氏 参加者 法吉公民館 28名(法吉地区民生児童委員・福祉推進員) Zoom 視聴 27事業所 44名(介護支援専門員)

◆松江市事例検討会

事業名等	内 容
松江市事例検討会	年間 参加者(ケアマネ) 延べ 81名 検討事例 10事例
第1回中止	●日時 令和4年7月12日(火) 13:30~14:30 参加者 0(松北エリア2事例) ※新型コロナウイルス感染症拡大の為中止
第2回	●日時 令和4年7月20日(水) 13:30~14:30 参加者 17名(松南第2エリア2事例) Zoom 開催
第3回	●日時 令和4年11月15日(火) 13:30~14:30 参加者 19名(中央エリア2事例) Zoom 開催
第4回	●日時 令和4年11月19日(金) 13:30~14:30 参加者 17名(松南第1エリア2事例) Zoom 開催
第5回	●日時 令和5年1月17日(火) 13:30~14:30 参加者 14名(松東エリア2事例)
第6回	●日時 令和5年1月24日(火) 13:30~14:30 参加者 14名(湖南エリア2事例)

◆地域ケア会議

事業名等	内 容
各包括での地域ケア会議	個別ケースの情報共有や対応等、地域課題について地域の関係者を含めて開催しました。 個別課題の検討 開催回数 29回 参加者 延 178名

事業名等	内 容
各包括（続き）  松江市個別地域ケア 会議	<p>地域課題の検討 開催回数 6回 参加者 延 117名</p> <p>多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力の向上を図りました。</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター</p> <p>参加者 介護支援専門員（事例提出者）</p> <p>助言者 薬剤師、訪問看護師、リハビリ専門職（PT OT ST いずれか1名）、歯科衛生士、管理栄養士、臨床心理士、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、社協 CSW</p> <p>検討事例 72事例 評価事例 56事例</p> <p>第1回 ●日時 令和4年5月26日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 会場：福祉センターと Zoom 開催</p> <p>第2回 ●日時 令和4年6月2日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 会場：福祉センターと Zoom 開催</p> <p>第3回 ●日時 令和4年6月16日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 会場：福祉センター</p> <p>第4回 ●日時 令和4年7月14日（火）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第5回 ●日時 令和4年8月4日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第6回 ●日時 令和4年8月18日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第7回 ●日時 令和4年11月17日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第8回 ●日時 令和4年11月24日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第9回 ●日時 令和4年12月15日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第10回 ●日時 令和4年12月22日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第11回 ●日時 令和5年2月2日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p> <p>第12回 ●日時 令和5年2月16日（木）13：30～16：30 検討事例 6事例 Zoom 開催</p>

事業名等	内 容
評価会議 第1回	●日時 令和4年10月13日(木) 13:30~16:30 Zoom開催 評価会議20事例(令和3年11月~令和4年2月までの事例)
第2回	●日時 令和5年3月16日(木) 13:30~16:30 Zoom開催 評価会議36事例(令和4年5月~令和4年8月までの事例)
研修会 第1回	●日時 令和4年11月8日~令和5年1月3日 YouTube申込者限定配信 内容「松江市あいさつ」 「松江市個別地域ケア会議の活用について」 地域包括支援センター 「地域ケア会議に提出した事例からの報告」 報告者 ケアマネジメントしるし 大津ケアマネジャー 報告者 訪問看護・介護ステーションすずらん 飯塚ケアマネジャー 参加者 受講申込者 91名 YouTube再生回数 175回 内訳 ケアマネ45名、薬剤師32名、訪問看護師3名、 理学療法士3名、臨床心理士2名、管理栄養士2名、 その他4名
第2回 (助言者研修)	●日時 令和5年3月2日(木) 15:00~17:00 Zoom開催 内容 【講演会】 「地域ケア会議の目的及び助言のポイントについて」 講師 大田市立病院 作業療法士 小林 央 氏 【グループワーク】 「模擬地域ケア会議の事例を通して助言を考える」 参加者 34名 内訳 主任ケアマネ8名、薬剤師10名、理学療法士2名 作業療法士1名、臨床心理士1名、訪問看護師1名 包括職員11名

## ②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

### 【地域包括ケア推進課】

在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されています。

令和2年度から質の高い在宅医療提供体制の構築を目指し、島根県の「医療連携コーディネ

ーター設置事業」を松江市医師会から受託し、在宅医療・介護連携支援センターに医療連携コーディネーターを配置しました。医師会との連携が強化され、医師会の医療連携担当医師と相談しながら事業を進めました。

◆地域の医療・介護資源の把握

○市内のすべての施設 150 か所、訪問看護ステーション 37 か所、訪問リハビリテーション 13 か所、ショートステイ 30 か所の特徴や、医療的ケア(インシュリン注射、喀痰吸引、経管栄養、在宅酸素療法、膀胱カテーテル等)や食事形態の対応状況、身寄りのない方の受け入れ状況等について調査を行いました。把握した情報を一覧にし、社協ホームページに掲載しました。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

○コロナ禍で、専門職が集まる会議の開催自体が困難な中、Zoom を使用し、通常の会議やコロナ対策に関する情報共有ができるよう支援し、各専門職の課題、取り組み状況等を広報誌「RENKEI」を年 4 回発行し、お知らせしました。

○救急搬送時の課題に対応するため、市内の関係機関に松江市作成「救急医療情報」の更新の周知、松江市消防本部と連携し「救急車を呼ぶ時の Q&A」を作成し、「救急車利用チェックシート」とともに周知しました。

○当センターホームページ内に「まっえの ACP」ページを立ち上げ、「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及啓発協議会」の取り組み状況や啓発動画を掲載し、活動報告の場を作りました。医師会主催の ACP の研修会について、介護関係者に受講周知をしました。

○「災害時リスクアセスメントシート」「非常用持ち出し品チェックリスト」を松江地域介護支援専門員協会、地域包括支援センターと共同作成し、災害に備える取り組みについて検討しました。

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

○医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。

◆相談内容

内容	在宅療養支援	医師との連携	介護との連携	入院の退院支援	施設の入所支援	医療・介護資源	その他	合計
R4	13	9	5	8	1	21	22	79
R3	21	11	3	13	2	37	60	147
R2	34	12	5	11	3	47	37	149

◆相談経路

相談者	ケアマネ	医師	病院	訪問看護	歯科	薬剤師	PT OT ST	事業所 サービス	行政	市民	包括	その他	合計
R4	9	3	20	5	0	2	0	4	2	3	17	14	79
R3	21	2	20	7	0	0	1	2	9	2	36	25	125
R2	28	4	20	2	0	1	0	5	12	5	30	21	128

◆医療・介護関係者の研修

- 市内各団体が開催する研修について、ホームページ上に「研修カレンダー」を作成、月 2 回更新し、関係者に研修情報を提供しました。また、松江地域介護支援専門員協会や松江圏域重症神経難病患者の介護支援専門員連絡会等の専門職団体からの相談を受け、Zoom を活用した研修会の開催支援、Google フォームを利用した参加申し込み等の支援を行いました。
- 当センター主催にて「診療報酬改定と地域への影響」についての研修を Zoom にて行いました。米子市錦海リハビリテーション病院長 角田医師と講師に迎え 60 名弱の参加がありました。
- 松江地域介護支援専門員協会と共催で、「災害対策、BCP 及び個別避難計画作成について」と題し、地域包括支援センターや介護支援専門員が災害にどう対応していくかについて考える研修を Zoom にて行い、65 名が参加しました。
- 終括支援ノートの活用や在宅医療・介護についての講座を松江市の地域で開催しました。(16 会場 参加者 390 名)

③生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

令和元年度より CSW（生活支援コーディネーター）を各包括支援センター（サテライトを除く）内に配置して、住民により身近な拠点で活動を行いました。

ア) 地域の生活課題の把握から新たな取組みの展開

2 地域福祉及び連携調整の強化 2-(2)地域福祉の推進 ①コミュニティソーシャルワークの展開の活動内容をご覧ください

また地区社協事業を始め、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ) ネットワークづくり

地域の生活課題の検討や住民の主体的な取組みによる解決を図るため、平成 30 年度末に市内 29 地区を単位に「第 2 層協議体」を立ち上げました。第 5 次地区地域福祉活動計画策定の会議を第 2 層協議体に充てている地区が多く、令和 4 年度は第 5 次地区地域福祉活動計画の進捗管理会議に参加しました。

ウ) 住民主体の生活支援サービスの開発

介護保険制度の総合事業に位置付けられる通所型サービス B(住民主体型)の立ち上げについて地区に働きかけをしました。また、これまで地域住民が主体となり実施されている

各地の居場所づくり活動においても後方支援しました。

#### エ) サービスの担い手確保

10月14日に令和4年度くらし安心サポートセミナーを実施し、5名が受講され、地域の支え合い活動の担い手として登録されました。

訪問型サービス A（基準緩和型サービス）へ従事していただくことを目的に、第1回目（10月19日・10月20日・10月21日）2回目（3月13日・3月14日・3月15日）に令和4年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。合計20名が受講をされ、内15名に対し松江市より修了証が授与されました。

#### ◆生活支援コーディネーターの動き

活動の項目	件数
住民型サービスへの支援	242件
協議体の立ち上げ・運営	110件
人材育成	517件
啓発	270件

#### ④認知症地域支援推進事業

【総務課】【地域福祉課】【地域包括ケア推進課】

##### ア) 支援者づくり・まちづくり

###### ○徘徊 SOS 見守りネットワークの強化

認知症見守りネットワークの協力者募集として **au**、ソフトバンクの販売店舗にチラシを置かせていただき登録を促しました。

市内の協力事業所に、高齢者の見守り協力の依頼をし、従業員の皆さんに認知症の理解や対応についての動画視聴や SOS 見守りネットワーク協力者登録チラシの配布をしました。

#### ◆認知症見守りネットワーク

年度	登録者数(利用者)	登録者数(協力者)	協力事業所数	稼働回数
R4年度	341人	1,375人	281事業所	7回
R3年度	257人	1,306人	258事業所	9回(1)
R2年度	214人	1,245人	256事業所	5回

( ) は、内市外からの依頼協力

###### ○男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦勞が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成21年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式で、毎月第3金曜日に開催しました。

- ・日時 毎月第3金曜日 10:00～12:00
- ・会場 松江市総合福祉センター3階教養室

開催月	参加人数	ボランティア	相談対応
4月	4人	傾聴ボランティア 「まつえ一期の会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター</li> <li>・地域福祉課地域福祉係</li> </ul>
5月	2人		
6月	3人		
7月	1人		
8月	2人		
9月	1人		
10月	4人		
11月	4人		
12月	4人		
1月	3人		
2月	4人		
3月	4人		
計	36人		

○家族介護者交流会

在宅で介護をしている家族介護者が介護者相互の交流会や研修・講座への参加を通して、気分転換し元気回復を図ることを目的に、以下の内容で実施しました。

事業名等	内容
家族介護者交流会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年9月29日(木) 10:00～11:30</li> <li>会場 松江市総合福祉センター4階 教養室</li> <li>参加者 10名</li> <li>内容 【講座】 「ケアマネジャーにきいてみよう～介護のあれこれ～」 講師 中央地域包括支援センター主任ケアマネジャー 糸川 真由美 湖南地域包括支援センター主任ケアマネジャー 板持 早苗</li> <li>【交流会】 感染予防をしっかりと行なった上で、参加者同士のフリートークを行いました。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、定員10名としました。</li> </ul>

4-(2) 各種貸付相談

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金制度の受付相談と、自主事業として低所得世帯に対し生活に緊急的に必要な一定の資金を貸し付ける民生融金貸付事業を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業などにより、緊急かつ一時的に生計に維持が困難になった世帯に少額の貸付を行う緊急小口資金、生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を

行う総合支援資金の特例貸付を行いました。

また、コロナ特例貸付利用者の現在の生活状況を把握し、必要な支援を行うことを目的に総合支援資金利用者アンケート調査を実施しました。

◆相談件数

年度	相談件数
R4 年度	<b>1,024 件</b>
R3 年度	1,549 件
R2 年度	6,693 件

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	57	134	110	79	76	118	76	53	106	100	75	40	1,024

※コロナ特例相談件数減少理由

- ・緊急小口資金（令和4年9月末で終了）
- ・総合支援資金（令和4年9月末で終了）

①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な運営に努めました。

- 福祉資金（生業、技能習得、住宅、福祉用具、障がい者自動車、療養、介護、災害援護その他福祉費、緊急小口）
- 教育支援資金
- 不動産担保型生活資金
- 総合支援資金
- コロナ特例（緊急小口資金、総合支援資金）

◆生活福祉資金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R4 年度	<b>233 件</b>	<b>69,886,640 円</b>
R3 年度	935 件	322,922,000 円
R2 年度	3,113 件	888,225,600 円

◆生活福祉資金 資金内訳（233 件）（内コロナ特例 180 件）

- 技能習得経費（3 件）
- 障がい者用自動車（1 件）
- 一時生活再建（5 件）
- 緊急小口（9 件）
- 教育支援費（14 件）
- 就学支度費（15 件）
- 総合支援資金（6 件）
- 特例小口（119 件）
- 特例総合(初回)（61 件）

◆コロナ特例貸付実績



○緊急小口資金

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11～3月	合計
件数	16	27	13	19	20	17	7	—	119

○総合支援資金

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11～3月	合計
件数	11	10	11	7	7	10	5	—	61

名 称	貸付件数	貸付金額
特例緊急小口	119 件	23,210,000 円
特例総合支援	61 件	22,840,000 円

◆総合支援資金利用者アンケート調査の実施

- ・対象者 656 名（回答者 138 名）
- ・対応（支援を希望する 55 名へ電話連絡）

電話不通	28 件	引き続き連絡を行う	
電話対応	27 件	情報提供で終了	5 件
		情報確認で終了	6 件
		くらしで対応	11 件
		貸付で対応	1 件
		確認中	4 件

②民生融金の貸付

生活困窮者に対する緊急の小口融資生活資金として、民生児童委員の協力により 1 件 5 万円以内で貸付支援を行いました。

◆民生融金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R4 年度	21 件	384,000 円
R3 年度	14 件	158,000 円
R2 年度	7 件	64,000 円

4-(3) 福祉サービス

①福祉サービスの実施

【地域福祉課】

住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住

民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

また、松江市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における、住民主体サービスである訪問型サービス B も実施しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
利用会員	100 人	115 人	125 人
協力会員	47 人	40 人	44 人

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1 時間単位のサービス時間を設定）

項目	R4 年度	R3 年度	R2 年度
利用回数（家事）	1,436 回	1,526 回	1,952 回
利用時間（家事）	1,853 時間	1,952 時間	2,883 時間
利用回数（介護）	727 回	673 回	455 回
利用時間（介護）	1,256 時間	1,126 時間	913 時間
利用回数（訪問 B）	245 回	353 回	318 回
利用時間（訪問 B）	236 時間	315 時間	248 時間
利用回数(計)	2,408 回	2,552 回	2,725 回
利用時間(計)	3,345 時間	3,429 時間	4,092 時間

◆研修会の開催

協力会員を対象に、訪問活動や日常生活に役立つ内容の研修を行い、合わせて会員同士の意見交換も行いました。

- 第 1 回 ・開催日：令和 5 年 1 月 27 日(金) ※大雪のため中止  
・内容：認知症の理解、成年後見制度などの支援について
- 第 2 回 ・開催日：令和 5 年 1 月 31 日(火)  
・内容：介護食などの調理実習、試食会
- 参加者数：5 名

◆機関紙の発行

協力会員に対して「ゆうあい通信」を発行しました。（令和 4 年 6 月）

## 5. 公的福祉サービス受託事業の推進

### 5-1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

長年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

年度	実施会場数	実施回数	参加者延人数
R4年度	314カ所	2,034回	21,100人
R3年度	254カ所	1,734回	18,746人
R2年度	257カ所	1,429回	14,983人

◆公民館区ごとの実施状況

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
城西	1	6	古江	7	20
城東	4	20	生馬	8	33
城北	4	30	鹿島	14	95
白潟	9	36	法吉	11	57
雑賀	5	49	津田	6	32
朝日	9	30	竹矢	8	229
朝酌	2	3	大庭	18	71
持田	10	61	古志原	10	55
本庄	7	23	八雲	18	147
川津	12	116	乃木	24	189
美保関	21	140	忌部	7	28
八束	6	15	玉湯	17	45
島根	16	68	宍道	16	121
大野	8	31	東出雲	24	251
秋鹿	12	33	合計	314	2,034

ア) 継続支援、立ち上げ支援

前年度からの継続実施会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をしました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

立ち上げ相談・説明会・支援	29地区 (37回)
立ち上げボランティア行事用保険	5会場 34件 (約690人分)
物品提供	5会場 9件
継続会場支援	56会場 135件

イ) 「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆全体研修会の開催

事例発表を通して、“再開”と“継続”をテーマにコロナ禍における「なごやか寄り合い」

の意義を考えることを目的に、令和5年3月22日に島根県立美術館ホールにおいて世話人全体研修会を開催しました。松江市シルバー人材センター理事長から「高齢者による高齢者のためのスマホ教室」の情報提供や「コロナ禍でのなごやか寄り合い」をテーマに2地区（幸町なごやか会、松ヶ丘なごみ会）より事例発表を行いました。

事業名等	内容
なごやか寄り合い 事業世話人全体研 修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年3月22日（水）10：30～12：00</li> <li>会場 島根県立美術館 ホール</li> <li>参加者 101名</li> <li>内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供 「高齢者による高齢者のためのスマホ教室」 松江市シルバー人材センター 理事長 西村 昌志 氏</li> <li>・事例発表 “コロナ禍でのなごやか寄り合い” 発表① 幸町なごやか会（白潟地区） 発表② 松ヶ丘なごみ会（古志原地区）</li> <li>・フレイル予防について 株式会社 CANVAS 代表取締役 作業療法士 藤井 寛幸 氏</li> <li>・事務連絡（評価について）</li> </ul> </li> </ul>

◆ブロック研修会の開催

例年、ボランティア（世話人）による実践報告や、ボランティア（世話人）同士の情報交換を通して、「なごやか寄り合い」をよりよくするためのヒントを学ぶことを目的に開催していますが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大のため開催することができませんでした。

◆コロナ禍におけるなごやか寄り合い事業の再開と継続に向けた支援

昨年度に今までにご協力いただいた出前講座が可能な団体の情報をまとめた一覧「なごやか寄り合いプログラム集」を作成しました。各地区での事業説明や研修に活用しました。

5・(2) 松江市くらし相談支援センターの運営

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、自立相談支援業務を行いました。令和4年度は令和2年3月から開始されたコロナ特例貸付の申請が終了し、償還免除や猶予など償還に関する相談を通じて自立相談に再度つながるケースが増加しています。一方で新規相談件数は減少傾向にありますが、令和2年度やそれ以前から継続して関わっている世帯も多く、複合的多問題を抱えた世帯の支援が長期化している傾向があります。地域や家庭内での孤立・孤独が問題を深刻化させないよう、地域への啓発活動も含め寄り添い続ける支援を行いました。

◆松江市くらし相談支援センター相談件数

年度	新規相談者実人数
R4年度	524人
R3年度	609人
R2年度	1,169人

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	51	54	58	48	38	47	28	46	30	39	34	51

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

相談内容	人数（%）	年齢別	
		10代	9人（1.7%）
病気・健康	101人（8.8%）	20代	57人（10.9%）
住まい	142人（12.4%）	30代	76人（14.5%）
収入・生活費	316人（27.6%）	40代	82人（15.6%）
家賃やローン	95人（8.3%）	50代	78人（14.9%）
税金・公共料金支払	67人（5.9%）	60代	54人（10.3%）
債務	68人（5.9%）	70代	48人（9.2%）
仕事探し・就職	108人（9.4%）	80代以上	20人（3.8%）
仕事上の不安・トラブル	19人（1.7%）	不明	100人（19.1%）
地域との関係	9人（0.8%）		
家族との関係	64人（5.6%）		
子育てのこと	22人（1.9%）	性別	
介護のこと	22人（1.9%）	男性	281人（53.6%）
引きこもり・不登校	12人（1.0%）	女性	231人（44.1%）
DV・虐待	6人（0.5%）	夫婦	
食べるものがない	39人（3.4%）	法人等	12団体（2.3%）
その他	53人（4.6%）		

区分	支援内容	人数
制度利用	住宅確保給付金	27人
	一時生活支援事業（シェルター）	12人
	家計相談支援事業	26人
	就労準備支援事業	18人
	被保護者就労準備支援事業	19人

区分	支援内容	人数
	入居債務保証（新規）	29人
	生活福祉資金	39人
	民生融金	18人
	社協独自のシェルター事業	13人
	フードバンク	340人
	就労自立促進事業	16人
	自立相談就労支援	40人
他機関への 引継ぎ ・ 同行	ハローワーク同行・連絡調整	200人
	法テラス	148人
	サポートステーション絆	57人
	地域包括支援センター	479人
	市関係機関	1271人

#### ①複合的な課題を抱えたケースに対する関係機関との連携強化

##### ◆更生保護関係団体との意見交換会

刑余者が社会に復帰し、自立した生活を送るためには、更生保護と生活困窮者といった異なる制度が行う支援の切れ目をなくし、包括的な関わりを持つことが重要です。特に「住まい」「仕事」の確保については、司法と福祉が協力していくことが強く求められます。こうした連携を促進することを目的にして、7月12日に松江保護観察所、松江刑務所、松江市福祉事務所、しらふじ等の意見交換会に参加しました。さらに島根県保護司会連合会の機関紙「島根更生保護」において、くらし相談支援センターの業務を紹介する記事の掲載をさせていただくことができました。

##### ◆生困困窮者自立支援法第9条「支援会議」の開催

「支援会議」とは、生活困窮者の自立を図るために必要な情報の交換を行うとともに、生活困窮者が地域において日常生活および社会生活を営むのに必要な支援体制に関する検討を行うことを目的に開催する会議です。参加者には守秘義務があり、開催にあたっての本人同意は不要です。令和4年度は試行的な取り組みとして、2件の事例について開催することができました。

##### 【令和4年度に開催した支援会議】

期日	支援会議参加機関
令和4年7月29日	松江市福祉事務所、松江警察署、ハローワーク、基幹相談支援センター絆
令和5年3月9日	松江市福祉事務所、松江市障がい者福祉課、松江市家庭相談課、松江市健康推進課、松江市介護保険課、地域包括支援センター、医療機関

## ②生活困窮者支援に対する理解促進

### ◆くらし相談支援センターの広報・啓発

公民館長会研修において、くらし相談支援センターで対応した事例を紹介することができました。公民館長会においても、生活困窮者支援に対する理解を一層高めることができたという感想をいただきました。9月には機関紙「ほっとスペース夏号」を発行し、市内公民館のほか、関係機関へ配布を行いました。

### ◆研修会を通じた住民理解の促進

令和5年度の第6次地区地域福祉活動計画の策定に向けて、「誰も排除をしない地域づくり」につながる活動が進められるよう、令和5年1月12日に開催された地区社協会長会及び福祉推進員代表者会研修において、くらし相談支援センターの活動紹介を行いました。

また令和5年1月～2月にかけては、福祉推進員ブロック研修会8会場において、研修を行うことができました。研修では「ひとり親世帯」と「8050世帯」の2つの事例を用意し、地域の特性に応じた事例を選んでロールプレイを行いました。参加者がそれぞれの役になり切ることで、当事者の気持ちを理解しようとする姿勢が見られました。

1月26日(木)	中央ブロック	12名参加
2月3日(金)	松東2ブロック(島根、美保関、八束)	14名参加
2月7日(火)	松南2ブロック	23名参加
2月8日(水)	松北1ブロック(鹿島、法吉、生馬)	15名参加
2月10日(金)	松北2ブロック(古江、秋鹿、大野)	10名参加
2月13日(月)	松東1ブロック(川津、朝酌、本庄、持田)	24名参加
2月14日(火)	湖南ブロック	11名参加
2月21日(火)	松南1ブロック	13名参加

## ③就労に向けた支援の実施

### ◆就労準備講座及びプレ就労準備講座の実施

就労によって増収を図り、生活困窮状態を改善することを目指した支援を行っています。しかし長い就労ブランクがあったり、コミュニケーションに課題があるなど、すぐには一般的な就労に結びつかない相談者もおられます。このような相談者のために、「就労準備講座」と「プレ就労準備講座」を開催しました。

5月～6月	就労準備講座	参加者数6名(内生活保護受給3名)
7月14日(木)	プレ就労準備講座	参加者数1名(内生活保護受給0名)
8月10日(水)	プレ就労準備講座	参加者数3名(内生活保護受給1名)
9月8日(木)	プレ就労準備講座	参加者数0名(内生活保護受給0名)
10月	就労準備講座	参加者数7名(内生活保護受給3名)
11月10日(木)	プレ就労準備講座	参加者数1名(内生活保護受給1名)

12月8日(木)	プレ就労準備講座	参加者数0名(内生活保護受給0名)
1月12日(木)	プレ就労準備講座	参加者数1名(内生活保護受給1名)
1月～2月	就労準備講座	参加者数10名(内生活保護受給8名)
3月9日(木)	プレ就労準備講座	参加者数1名(内生活保護受給1名)

#### ④フードバンク事業

【総務課・生活支援課】

くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、市福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的な対応としてフードを提供しました。

##### ◆提供者数

項目	実利用者	延べ利用者	1人あたり回数
R4 提供数	255人	340人	1.33回
R3 提供数	149人	239人	1.60回

##### ◆ひとり一品運動

生活困窮者へのフード提供や生活困窮世帯、特にコロナ禍の影響を受けて収入が減少し、負担が増えた「ひとり親世帯」等を支援するために、「ひとり一品運動」を11月実施しました。お米・缶詰・乾麺・インスタント食品、日用品等の寄贈を広く市民に呼びかけ、多く品物を寄贈いただきました。また、新たに Amazon「みんなで応援」プログラムに参加し、本会が希望する品物の寄贈を呼びかけました。

##### ○寄付件数

寄付者数(個人・団体) 283件 数量 11,287点

##### ◆ひとり親世帯等への食料・日用品の提供

ひとり一品運動で寄付をいただいた物品やコロナ禍における共同募金助成事業を利用し、「ひとり親世帯」を中心とした生活困窮世帯への支援を行いました。

日時	提供世帯数	提供品	備考
5月9日～ 23日	93世帯	食品(米、お菓子等)	期間中随時 受け取り
12月11日	149世帯	食品(米、水、ふりかけ、海苔、袋ラーメン、お菓子等)、日用品	
合計	242世帯		



### ⑤「助っ人弁護士制度」(法テラス島根との連携)

【生活支援課】

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や法律相談を行い、司法と福祉の連携を図りました。

#### ◆助っ人弁護士制度の実績

年度	方法	件数
R4年度	面談での法律相談・情報提供	47件
R3年度	面談での法律相談・情報提供	47件
R2年度	面談での法律相談・情報提供	52件

### 5-(3) 高齢者あんしんサポート事業

【生活支援課】

身寄りのない高齢者を支援する「高齢者安心サポート事業」を実施しました。

#### ◆契約件数

年度	新規契約件数
R4年度	2件
R3年度	0件
R2年度	5件

#### ◆相談ケースについて

相談件数	19件
内契約に向け継続相談件数	0件

#### ◆契約締結審査会

新規審査件数	開催日
1件	1月30日

### 5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営

【生活支援課】

本年度、中核機関である松江市権利擁護推進センターでは、成年後見制度が社会全体を支える仕組みとなるよう、市民、行政、関係機関と連携し、広報啓発事業、総合相談事業、利用促進業務事業、後見人等支援業務、地域連携ネットワークの構築等の各種事業を推進し取り組みを行いました。また、成年後見制度が『その人らしい生き方』を社会全体で支える身近な制度となるよう、人材育成として市民後見人養成講座、記念講演会やなんでも相談会の実施にも取り組みました。

#### ①相談受付業務

成年後見制度に関する相談だけでなく、日常生活自立支援事業などの権利擁護に関する相談

支援機関として、市民の皆様に寄り添った対応を行いました。また関係機関と連携を図りながら、支援が必要な方に対して迅速に対応し、支援につなげました。

◆相談実績

年度	新規相談件数（実数）	相談支援回数（延数）
R4年度	142件	420回
R3年度	99件	325回

◆新規相談における対象者の分類（重複あり）

分類 年度	認知症	知的障がい	精神障がい	身体障がい	障がい 高次脳機能	発達障がい	その他	不明	計
R4年度	36	21	18	4	11	3	39	26	158
R3年度	38	12	20	8	2	0	26	2	108

◆主な相談内容（重複あり）一部抜粋

相談内容	新規実件数	継続支援件数	延件数
成年後見制度の相談	69件	14件	109件
成年後見申立て支援	12件	15件	50件
日常生活自立支援事業	21件	6件	40件
金銭管理	20件	9件	60件
住居	6件	1件	13件
相続・遺言	6件	4件	18件
虐待・権利侵害	3件	2件	6件
財産・資産	4件	2件	12件
任意後見	12件	5件	25件
その他	13件	8件	54件

②利用促進業務

成年後見制度を必要とするご本人の状況や課題に応じて適切な後見人等を選任するための受任者調整を行いました。また、制度利用の促進に向けた担い手育成事業を実施しました。

ア) 受任者の調整

松江市権利擁護推進センターでは、本人がメリットを感じることができるよう、専門職（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会、松江後見センター）で構成する「受任者調整会議」によって、適切な受任者の調整を行いました。

◆受任者調整件数および受任者調整会議開催回数

年度	受任者調整件数	受任者調整会議
R4年度	47件	22回
R3年度	27件	15回

◆受任者調整結果

団体 候補者 選出 年度	弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	センター 松江後見	松江市社協 (法人後見)	松江市社協 (市民後見)	(※1) 複数保佐人	計
R4年	9件	4件	8件	13件	11件	1件	1件	47件
R3年	6件	4件	1件	8件	7件	1件	—	27件

(※1) 複数補佐人（弁護士会、松江市社協（法人後見）

イ) 担い手育成

今後、制度の利用が必要な方の増加に伴い、後見人が不足することが見込まれます。松江市権利擁護推進センターでは、ご本人に寄り添い、より身近なかたちで支援を行うことができる市民後見人等の養成を行っています。

◆令和4年度松江市市民後見人等養成講座【基礎講座】 修了者 21名

開催日	時間	内容
【1日目】 2月4日（土）	9:30~15:15	「権利擁護支援とそれを実現するための制度・事業について学ぶ」
【2日目】 2月18日（土）	9:30~15:20	「権利擁護支援を必要とする人の特性と支援について学ぶ」
【3日目】 2月25日（土）	9:30~16:00	「いつまでも自分らしく安心して暮らすために役立つ知識について学ぶ」

◆令和4年度松江市市民後見人等養成講座【実務講座】 修了者 5名

開催日	時間	内容
【1日目】 7月2日（土）	9:00~14:50	・日常生活自立支援事業の復習 ・成年後見制度の復習
【2日目】 7月16日（土）	9:00~15:00	・法律の基礎 ・成年後見制度の実務Ⅰ（申立手続き） ・成年後見の実務Ⅱ（財産目録の作成） ・青年後見の実務Ⅲ（後見計画と収支予定の作成）
【3日目】 7月23日（土）	9:00~15:40	・成年後見の実務Ⅳ（財産管理と身上保護等） ・成年後見の実務Ⅴ（報告書類の作成） ・成年後見の実務Ⅵ（後見等事務終了時の手続き等）

開催日	時 間	内 容
【3日目】 (続き)		・意思決定支援について ・当事者の声を聞く
【4日目】 8月6日(土)	9:00～15:25	・地域福祉の現状と課題 ・松江市の権利擁護施策 ・市民後見人とチームによる支援 ・市民後見人活動報告 ・任意後見制度概説
【実習】 7月11日～ 7月29日	平日約3時間	・日常生活自立支援事業の支援同行

※レポート作成 (A4用紙1枚程度)

テーマ①「体験実習レポート」

テーマ②「わたしが思い描く市民後見人像」

◆松江市市民後見人等養成事業の推移

本会の市民後見人候補者バンク運営基準を満たした方に、バンク登録の声掛けをさせて頂き、新たに4名の方が登録されました。

市民後見人候補者バンク登録者の中から家庭裁判所へ推薦した結果、新たに2名の方が市民後見人に選任されました。

事業 \ 年度	H23- H30	R1	R2	R3	R4	計
基礎講座修了者	124	10	21	26	21	202
実務講座修了者	57	4	4	12	5	82
生活支援員登録者	39	1	2	5	15	62
生活支援員活動者	22	1	2	5	9	39
法人後見支援員登録者	2	0	0	0	11	13
法人後見支援員活動者	1	0	0	0	11	12
市民後見人候補者バン ク登録者数	10	1	1	6	4	19 (※1)
市民後見人受任者数	0	1	2	2	2	5 (※2)

※1 令和3年度に市民後見人等候補者バンク満期登録者の更新手続きを行った結果、3名の方が更新辞退されています。

※2 令和4年に被後見人の死亡に伴う市民後見人1名の活動終了がありました。また、年度中に市民後見人1名が高齢を理由に辞任され、後任として新たな市民後見人が選任されました。

### ③後見人等支援業務

後見人等の相談に応じるとともに、必要に応じて本人に身近な親族、福祉・医療・地域等の関係者によるチーム作りを支援し、モニタリング機関とも連携をとりながら、後見人等を孤立させない支援体制を整備しました。

#### ◆後見人等への引継ぎ

受任者調整会議を経て、後見人等選任の審判がおりの後の、本人や親族・後見人・支援者との顔合わせの会を随時行いました。後見人が既存のチームにスムーズに入ることができ、また後見業務が円滑にスタートできるようご本人の想いや課題等を後見人へ伝え、引き継ぎを行いました。

#### ◆後見人支援チーム会議

支援困難なケースやチームが未形成のケースについては、必要に応じて後見人等と本人、親族、関係者による支援チーム会議を開催し、チーム作りを支援しました。

年度	後見人支援チーム会議	延べ参加人数
R4年度	55回	340名
R3年度	18回	110名

#### ◆親族後見人意見交換会

事業名	内容
第2回 親族後見人さんのつどい	<p>●日時 令和5年2月10日(金) 10:00～11:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 2階 視聴覚室</p> <p>参加者 6名</p> <p>趣旨 ①親族後見人等が気軽に立ち寄ることができ、また親族後見人同士情報交換を行える場をつくる。</p> <p>②親族後見人等が抱えている悩み・ニーズをキャッチし、後見人支援として何ができるのかを検討する。</p> <p>③ご本人の権利擁護の視点にたった後見活動を、親族後見人等と一緒に考え推進していく。</p> <p>内容 自己紹介、弁護士からの講話、フリートーク</p> <p>協力者 法テラス島根法律事務所 弁護士 三村 明 氏</p>

### ④広報・啓発業務

松江市権利擁護推進センターの役割を広く知っていただくための広報活動を行いました。また成年後見制度の理解と利用促進が図られるよう、市民の皆様に対し公開講座や地域に出向いて出前講座などを開催しました。専門職や関係機関に対しても、啓発および情報提供を行いました。

#### ア) 広報・啓発用ツールの作成

- 社協だより (9月.11月号掲載)「松江市権利擁護推進センター事業紹介など」
- リーフレットの増刷 (一部変更) 配布部数: 約 500 部
- 機関紙「まもる」第 2.3 号作成 配布部数: 約 4000 部

- クリアファイル作成 配布部数：500部
- 松江市権利擁護推進センター 社協内HP作成
- 成年後見制度利用促進・啓発ビデオ「つばきさんの一生～つばきさんと成年後見制度～」  
個別貸出件数：13件

イ) 成年後見制度講演会・なんでも相談会の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」をテーマに、成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の市民講座を開催しました。

合わせて、島根県弁護士会・法テラス島根法律事務所・地域包括支援センター協賛による、「なんでも相談会」を同時開催しました。

◆成年後見制度相談会等

事業名等	内 容
成年後見制度講演会・なんでも相談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年1月14日(土) 13:30～15:00</li> <li>会場 松江市市民活動センター(STIC)5階 交流ホール</li> <li>参加者 63名(講演会)、6名(なんでも相談会)</li> <li>内容 【成年後見制度講演会】 「ご存知ですか？成年後見制度 ～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」 講師 法テラス島根法律事務所 弁護士 三村 明 氏</li> <li>【なんでも相談会】 協賛 島根県弁護士会、法テラス島根法律事務所、 地域包括支援センター</li> </ul>

ウ) 出前講座・研修会講師

事業名等	内 容
津田地区社会福祉協議会理事会 研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年4月18日(火)</li> <li>会場 津田公民館</li> <li>演題 「つばきさんの一生～つばきさんと成年後見制度～」</li> <li>参加者 約15名</li> </ul>
竹矢地区福祉推進員委嘱状交付式 研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年6月3日(金)</li> <li>会場 竹矢公民館</li> <li>演題 「地域での見守りの仕組みについて+DVD視聴」</li> <li>参加者 約40名</li> </ul>
城北地区民児協 研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年6月23日(木)</li> <li>会場 城北公民館</li> <li>演題 「地域の権利擁護支援+DVD視聴」</li> </ul>

事業名等	内 容
	参加者 約 40 名
持田地区民児協 研修会	●日時 令和 4 年 7 月 28 日 (木) 会場 持田公民館 演題 「地域の権利擁護支援+DVD 視聴」 参加者 約 15 名
白潟地区民児協 研修会	●日時 令和 4 年 8 月 22 日 (月) 会場 白潟公民館 演題 「地域の権利擁護支援+DVD 視聴」 参加者 約 11 名
大庭地区民児協 研修会	●日時 令和 4 年 8 月 27 日 (土) 会場 大庭公民館 演題 「地域の権利擁護支援+DVD 視聴」 参加者 約 25 名
松江市民児協第 7 ブロック研修会 (津田・古志原地区)	●日時 令和 4 年 9 月 2 日 (金) 会場 津田公民館 演題 「成年後見制度の基礎と市民後見人について+DVD 視聴」 参加者 約 42 名
島根県医療ソーシ ャルワーカー協会 初任者研修	●日時 令和 4 年 9 月 4 日 (日) 会場 オンライン開催 演題 「権利擁護と成年後見制度+DVD 視聴」 参加者 約 37 名
地区社協会長会+ 福祉推進員代表者 会合同研修会	●日時 令和 5 年 2 月 9 日 (木) 会場 島根県民会館 演題 「つばきさんの一生～つばきさんと成年後見制度～」 参加者 約 89 名
川津地区民児協 研修会	●日時 令和 5 年 2 月 24 日 (金) 会場 川津公民館 演題 「地域における権利擁護支援+DVD 視聴」 参加者 約 23 名

#### ⑤地域連携ネットワークの構築

##### ア) 権利擁護部会の開催

事業名等	内 容
権利擁護部会	●日時 令和 4 年 4 月 10 日 (月) 資料郵送

事業名等	内 容
第 1 回 (※書面開催)	<p>内容 松江市権利擁護推進センターの事業について</p> <p>○令和 3 年度の実績報告</p> <p>①相談受付業務</p> <p>②利用促進業務</p> <p>③後見人等支援業務</p> <p>④広報・啓発業務</p> <p>○令和 4 年度の事業計画及び進捗状況</p> <p>①令和 4 年度事業計画及び取り組み</p> <p>②令和 4 年度の取り組み状況 (4 月~7 月)</p> <p>③令和 4 年度下半期に向けて</p>
権利擁護部会 第 2 回	<p>●日時 令和 5 年 3 月 17 日 (金) 10:00~11:00</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</p> <p>出席者 27 名</p> <p>内容 ①部会長あいさつ</p> <p>②令和 4 年度実績報告と課題提起</p> <p>③グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ 1 「後見人等担い手の確保について策を語ろう！ それぞれの立場でできそうなこと」</li> <li>・テーマ 2 「本人の希望を叶えるための連携とは？」</li> <li>・グループワーク講評 (宮本部会長)</li> </ul>

◆三士会合同シンポジウム

事業名等	内 容
三士会合同 シンポジウム	<p>●日時 令和 4 年 11 月 20 日 (日) 13:30~16:00</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール (ハイブリッド方式)</p> <p>参加者 64 名 (会場参加 42 名、オンライン参加 22 名)</p> <p>内容 【基調講演】</p> <p>「意思決定支援の実践について～国のガイドラインを踏まえて～」</p> <p>講師 新潟大学法学部 教授 上山 泰 氏</p> <p>【シンポジウム】</p> <p>コーディネーター 池田 圭介 (松江市社協生活支援課長)</p> <p>シンポジスト① 金山 孝治 氏 (弁護士)</p> <p>シンポジスト② 香取 亜希 氏 (司法書士)</p> <p>シンポジスト③ 岡崎 正興 氏 (社会福祉士)</p> <p>シンポジスト④ 和田 謙一 (松江市社協法人後見担当)</p>



## 6. 介護保険関係事業の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する4つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう基盤整備に努め、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

### 6-1) 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

#### ①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。  
(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

#### ◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

年度	職員数
R4年度	2名
R3年度	2名
R2年度	2名

#### ◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作 成 人 数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R4年度	783	34	63	156	255	167	58	32	18	0	6,156	886
R3年度	750	0	84	109	240	204	57	49	73	0	7,768	1,235
R2年度	763	14	66	46	292	208	83	54	0	0	8,494	1,839

#### ②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)7名(嘱託3名、パート4名)体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R4年度	2名	1名	4名
R3年度	2名	1名	4名
R2年度	2名	2名	7名

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R4年度	72	95	124	91	123	53	43	6	607
R3年度	32	114	133	110	153	41	21	6	610
R2年度	22	51	74	140	176	37	23	0	523

6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆美保関居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R4年度	2名
R3年度	2名
R2年度	2名

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作成 人数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R4年度	826	22	78	179	245	179	95	23	5	0	3,291	1,127
R3年度	924	26	136	139	250	198	103	62	10	0	3,645	1,191
R2年度	945	32	154	84	315	183	84	73	20	0	3,784	1,355

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)9名(嘱託3名、パート6名)体制により、身体

上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R4年度	2名	1名	6名
R3年度	2名	1名	6名
R2年度	2名	1名	6名

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R4年度	3	145	191	224	147	5	27	26	768
R3年度	28	140	211	229	118	13	40	21	800
R2年度	29	141	226	265	55	10	39	19	784

③通所介護事業及び介護予防通所介護事業

通所介護事業及び介護予防通所介護事業所を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

◆美保関通所介護及び介護予防通所介護体制 (兼務有)

年度	生活相談員	看護職員(機能訓練)	介護職員
R4年度	2名	3名	8名
R3年度	3名	3名	9名
R2年度	3名	3名	9名

◆美保関通所介護事業

年度	年度末実利用者数	稼働日数	年間延利用者数	年間延入浴利用者数	年間延食事利用者数	一日平均利用者数	3h～4h(人)通所介護	4h～5h(人)通所介護	5h～6h(人)通所介護	6h～7h(人)通所介護	7h～8h(人)通所介護
R4年度	21	250	2,582	2,481	2,582	10.3	7	5	7	360	2,203
R3年度	29	304	4,086	3,930	4,086	14.4	29	3	148	460	3,446
R2年度	37	308	5,480	5,242	5,480	17.7	1	0	10	387	5,072

◆美保関介護予防通所介護事業

年 度	年度末実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	総合事業	介護予防 通所介護	介護予防 通所介護
R4年度	8	250	537	372	453	2.1	67	123	347
R3年度	7	304	352	251	352	1.1	5	162	180
R2年度	5	308	295	222	276	0.9	23	150	122

【地域福祉課】

④美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー

美保関・雲津地区で買い物に困っている住民に対し、令和元年10月より美保関介護センターの福祉車両を活用した商業施設への移送・買い物支援を実施しています。令和4年度は毎月第3金曜日に買い物ツアーを実施し、計12回の実施で延べ46人（実人数5人）の参加がありました。参加者からは「毎月1回の買い物ツアーを楽しみにしています」「是非、続けてほしい」などといった声をいただき、生活の質の向上や介護予防に対する一定の効果が得られました。

6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆松南居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R4年度	2名
R3年度	2名
R2年度	3名

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数

(人)

年 度	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R4年度	760	37	53	163	256	143	37	55	16	1	4,876	1,390
R3年度	835	13	50	172	342	132	62	47	17	0	5,552	1,514
R2年度	1,055	52	53	173	401	187	111	58	20	0	6,649	2,049

## ②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）8名（嘱託2名、パート6名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

### ◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R4年度	1名	1名	6名
R3年度	1名	1名	6名
R2年度	1名	1名	7名

### ◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R4年度	54	74	186	65	36	0	12	1	428
R3年度	28	84	120	77	73	1	17	0	400
R2年度	11	72	73	140	53	14	12	7	382

## 6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

### ①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

### ◆宍道居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R4年度	2名
R3年度	3名
R2年度	3名

## ◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数

(人)

年 度	作 成 人 数	総 合 事 業	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R4 年度	803	80	57	62	253	225	49	54	23	0	1,351	1,091
R3 年度	1,013	92	43	109	311	235	98	102	23	0	1,671	1,222
R2 年度	1,285	142	68	202	400	225	137	86	25	0	2,220	1,552

## ②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）8名（嘱託1名、常勤1名、パート6名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

## ◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年 度	サ ー ビ ス 提 供 責 任 者	常 勤 ヘ ル パ ー	パ ー ト ヘ ル パ ー
R4 年度	1 名	1 名	6 名
R3 年度	1 名	1 名	7 名
R2 年度	1 名	1 名	9 名

## ◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績

(人)

年 度	総 合	支 援 1	支 援 2	介 護 1	介 護 2	介 護 3	介 護 4	介 護 5	計
R4 年度	0	142	171	52	60	12	32	0	469
R3 年度	0	115	164	69	83	48	13	0	492
R2 年度	0	77	100	90	93	59	4	11	434

## 6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

## ①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5年更新）が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

年度	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	更新	計
R4年度	5	4	2	5	4	20
R3年度	2	5	0	12	8	27
R2年度	0	0	2	0	7	9

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るため、Zoom視聴による以下の研修に参加しました。

事業名等	内容
訪問介護員 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年2月20日(月)、27日(月)</li> <li>会場 各事業所 (Zoom)</li> <li>参加者 32名</li> <li>内容 島根県障がい者虐待防止・権利擁護研修</li> </ul>

③居宅介護支援専門員内部研修

社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため事例検討会等計画しましたが新型コロナウイルス感染症予防のため中止としました。なお、Zoom視聴による下記の研修に参加しました。

事業名等	内容
居宅介護支援 専門員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年3月17日(金)</li> <li>会場 各事業所 (Zoom)</li> <li>参加者 8名</li> <li>内容 島根県高齢者虐待防止</li> </ul>

6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【総務課】

島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

今年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の伴い更新申請分の延長措置希望が増えたことにより調査希望が減少しています。

◆介護認定訪問調査事業体制

年度	正規	嘱託	パート
R4年度	2名	17名	4名
R3年度	2名	18名	4名
R2年度	3名	15名	5名

◆調査件数

(件)

年度	在宅	施設	合計
R4年度	5,021	3,791	8,812
R3年度	6,771	4,197	10,968
R2年度	3,505	2,947	6,452

ア) 介護認定調査員の資質の向上

認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

◆調査員研修

事業名等	内容
松江市認定調査員 現任研修 第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年12月26日(月)</li> <li>内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定状況について</li> <li>・事例検討(模擬審査会)</li> </ul> </li> <li>講師 介護保険課 保健師 尾添 聡美 氏</li> <li>参加者 22名</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和5年3月3日(金)</li> <li>内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・松江市の認定状況について</li> <li>講師 介護保険課 保健師 尾添 聡美 氏</li> <li>・「コミュニケーションマナー講座」</li> <li>講師 フリーアナウンサー 河野 美知 氏</li> </ul> </li> <li>参加者 19名</li> </ul>
社協内部研修 第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年6月28日(火)</li> <li>内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における調査実施の際の確認事項について</li> <li>・不安定な時期の調査について、迷った時の確認事項</li> <li>・認定係との項目目合わせ結果の報告</li> </ul> </li> <li>参加者 22名</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時 令和4年9月27日(火)</li> <li>内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ演習 模擬調査</li> </ul> </li> </ul>



事業名等	内 容
第 2 回（続き）	「他調査員の聴き方、ふるまい方を知ろう」 参加者 21 名
第 3 回	●日時 令和 4 年 10 月 17 日(火) 内容 ・グループ演習 「第 2 回に行った調査の特記作成」 参加者 22 名
第 4 回	●日時 令和 4 年 10 月 31 日(月) 内容 ・調査項目について報告(特記内容の目合わせ) 講師 介護保険課 保健師 尾添 聡美 氏 ・「認定調査の基本的な考え方について」 厚生労働省 認定調査員能力向上研修 講義視聴 参加者 22 名
認定調査勉強会	●日時 令和 4 年 8 月 25 日(木) 内容 ・認定調査模擬問題に挑戦 参加者 17 名

#### イ) 他市町村からの介護認定訪問調査の受託

松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

#### ◆他市町村から調査を受託件数

年度	件数
R4 年度	10
R3 年度	6
R2 年度	6

## 7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する 4 つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

また、3 つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し 1 つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R4年度	668回	4人	7名	540時間30分	50分
R3年度	741回	7人	7名	617時間30分	50分
R2年度	866回	7人	7名	751時間15分	52分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R4年度	23回	4人	7名	62時間	2時間40分
R3年度	28回	5人	7名	82時間	1時間00分
R2年度	32回	5人	7名	101時間30分	3時間10分

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R4年度	778回	12人	9名	829時間00分	1時間04分
R3年度	1,011回	12人	9名	828時間30分	49分
R2年度	1,145回	18人	9名	1,215時間00分	1時間03分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R4年度	34回	2人	6名	55時間30分	1時間40分
R3年度	28回	2人	7名	43時間00分	1時間30分
R2年度	24回	2人	9名	44時間30分	1時間51分

③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

【総務課：松南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R4年度	146回	1人	7名	94時間	40分
R3年度	74回	1人	6名	46分	35分
R2年度	226回	2人	9名	258時間30分	1時間09分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆業務実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R4年度	8回	3人	3名	10時間30分	1時間20分
R3年度	8回	1人	2名	8時間10分	2時間30分
R2年度	0回	0人	0名	0分	0分

#### ④ 宍道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

##### ◆ 契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	ヘル パー 数 実 働	サービ ス提供 時間	平均利用時間
R4年度	732回	10人	9人	888時間00分	1時間10分
R3年度	1,001回	9人	11人	1,108時間15分	1時間06分
R2年度	971回	8人	12人	1,025時間45分	1時間03分

## 8. 児童福祉サービスの推進

### 8-(1) 児童センター等の受託運営

【総務課：松南事業所】

#### ① 八雲児童センター運営事業

0歳から18歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

##### ◆ 利用実績

(延べ人数)

年度	0～6歳	小学生	中高生	大人	合計
R4年度	1,153人	303人	6人	2,860人	4,322人
R3年度	984人	584人	3人	2,818人	4,389人
R2年度	639人	497人	4人	2,267人	3,407人

コロナ禍により、行事の中止や縮小したものもあり、前年度同様利用者数は、横ばい状況となりましたが、他の施設等との連携で年間をとおして多様な行事を行いました。

- ▼ 毎月1回 絵本とあそぼう会、ファミリーサークル、わいわいサロン、まあまるうむ、布のおもちゃ作り
- ▼ 年1回～2回 表現ワークショップ、わらリズム、親子お楽しみ会  
音楽コンサート、お月見会、幼児救急法等

#### ② 八雲児童・子育て事業

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域での多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラくらぶ」を実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラくらぶ」	●回数 23回 会場 八雲児童センター 参加者 169人（親子）

子育てサロンの活動を支える若いお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親の増加や、幼稚園児の減少により参加者が減少していることもあり、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけ実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラママ」	●回数 9回 会場 八雲児童センター 参加者 229人（地域の高齢者の方々を含む） フラワーアレンジメント、表現ワークショップ、コンサート等

## 8-(2) 子ども食堂の取り組み

【地域福祉課】

子どもや貧困世帯に限らず、誰もが「食」を通じて交流することができる子ども食堂は地域の居場所として松江市でも広がっております。

松江市社協が把握する子ども食堂は令和3年度末時点では4か所でしたが、令和4年度末時点で13か所まで増加しました。

各地区のCSWが子ども食堂の立ち上げや運営支援を行うことと並行して、全市的な子ども食堂の支援として企業等への働きかけにも力を入れて取り組みました。

企業等から寄贈いただいた食品や物品は、市内子ども食堂代表者へメール配信を行うなど、間接的な運営支援も行っております。

また、松江市内の子ども食堂運営者や立ち上げ希望者同士の横のつながりを作るべく、市内子ども食堂関係者有志とともに令和3年度に引き続き「松江市子ども食堂交流会」を実施しました。

### ◆松江市子ども食堂交流会

事業名等	内 容
令和4年度松江市 子ども食堂交流会	●日時 令和5年3月6日（月）15:00～17:00 18:00～懇親会(御華門) 参加者 27名 内容 ・事例発表（2件） ・意見交換を目的としたグループワーク ・市社協からの情報提供

## 9. 福祉施設等管理運営事業の受託

### 9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点として利用がありました。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を講じながら、対応マニュアルに沿って貸館業務を行い安全な管理に努めました。コロナ禍に加え空調設備の老朽化により、大ホール、娯楽室等の貸出について休止したところもあり、施設利用については減少しました。

◆開館実績：令和4年度 359日 9:00～21:00（日曜 9:00～17:00、祝日 9:00～18:00）

年度	施設利用人員
R4年度	23,150人
R3年度	27,145人
R2年度	21,373人

### 9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課：湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すばく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や体協支部の交流の場として市内外の方々の利用がありました。

建設から28年経過し、令和4年度は自動火災報知設備改修や雨樋清掃工事を行いました。

◆利用実績

年度	利用件数	時間数	利用人員（延べ）
R4年度	146件	518時間	2,609人
R3年度	148件	516時間	2,565人
R2年度	126件	440時間	2,136人

### 9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業

【総務課：松東事業所】

市からの指定管理者として自主事業である介護センター事業を中心に施設の管理運営を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、体験学習やボランティアの受け入れは中止しました。

◆主な活動事業

事業名	年間回数	備考
美保関地区高齢者クラブ会議	5回	
地域ケア会議	2回	

## 10. 「地域共生社会の実現に向けた」の地域づくり推進

### 10-(1) 重層的支援体制整備事業

【地域福祉課】

令和3年度から国の新たな事業として重層的支援体制整備事業が始まりました。

各包括エリアにおいて、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）と地域包括支援センタ

一相談員がチームとしての連携を強化し、社協内各課の横断的な協働支援、さらに公民館、地区社協、社会福祉法人・企業・NPO 法人等とともに、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開し、誰も取りこぼすことのないつながりのある包括的支援体制の構築に向け取り組みました。

## ①多機関協働事業

### ①-1 相談支援事業（相談の受けとめ）

#### ア) ふくしなんでも相談所の相談対応

市民の皆様身近なご相談（悩みごと）をお受けし総合的にサポートするとともに、周知活動を行いました。

#### ◆周知活動

- ふくしなんでも相談所ちらし：市内薬局、民協、地区社協、公民館他に配布
- ふくしなんでも相談所カード：市内小中学校、宍道高校、薬局に配布
- ふくしなんでも相談所看板リニューアル

#### ◆相談件数

年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
相談件数	<b>291 件</b>	359 件	288 件

#### ◆相談内容

内容	介護	家庭	体心	住まい	経済	孤立	子育て	就労	権利	近隣	地域	他	計
件数	77	35	79	65	62	28	15	23	8	24	18	133	567
%	13.6	6.2	13.9	11.5	10.9	4.9	2.6	4.1	1.4	4.2	3.2	23.5	100

#### イ) 福祉総合相談システム（相談管理システムゆめと）の活用

システムを導入し、受けた相談の一元管理を行いました。

#### ウ) ふくしなんでも相談所窓口の拡充

松江市社会福祉法人連絡会に参加している 9 つの社会福祉法人が各事業所に 20 か所の「ふくしなんでも相談窓口」を、市内の薬局 13 か所が「ふくしなんでも相談所連携薬局」を設置され、令和 4 年 4 月から設置しました。担当分野にとらわれない福祉の相談を受け付け、各専門機関やふくしなんでも相談所につながりました。

年度	R4 年度
社会福祉法人受付件数	10 件
連携薬局受付件数	30 件

#### エ) 民間企業との連携

ふくしなんでも相談所の出張版として、イオンリテール株式会社との連携によりイオン松江ショッピングセンターを会場に「ふくしなんでも相談所 in イオン松江」を毎月第 3 火曜日に 10 回開催し、12 件の相談を受け付けました。

#### オ) 社協内相談機関連絡会議

毎月第4水曜日に事務局長、各課長、各係長が参加し、ふくしなんでも相談や、社協内の各相談機関での相談内容や支援状況を把握し、課題解決に向けた進捗管理を行いました。

カ) 対策会議の開催

社協としてケースにどう関わり、どう支援を組み立てていくのかを検討する対策会議を開催しました。例えば、複合的な課題を抱え、各課を超え検討が必要なケースや既存のサービスや制度では解決できないケースなどについて検討しました。

(開催回数9回 検討ケース延べ13件)

キ) 困難事例検討会の開催

複雑・複合化した支援困難事例に対して、弁護士、医師等の外部の専門家の助言をいただきながら、課題解決に向けた支援策について検討しました。

(開催延べ件数 1回 検討事例実数1件)

ク) スキルアップ研修の開催

社協職員全員がふくしなんでも相談所の相談員として、総合相談機能の強化を図るため、社協職員として、総合相談に必要な知識を学び、スキルアップを目指す。

時期	内容	詳細内容	講師
7月13日(水)	子どもの支援	児童虐待等について	中央児童相談所
9月21日(水)	自死予防	ゲートキーパー研修の実施	松江市健康推進課
10月14日(金)	高齢者	高齢期における社会関係について	島根大学 人間科学部 豊島 彩 氏
11月16日(水)	女性の支援	女性の支援について	島根県女性相談センター
2月15日(水)	発達障害	発達障害の理解について	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ

①-2 重層的支援会議・支援会議の運営

ア) 重層的支援会議・支援会議の開催

学識経験者、弁護士、臨床心理士を助言者として、会議を開催しました。8050世帯の対応、ごみ屋敷問題、ひきこもりの参加支援へのつなぎなど継続事例の評価や支援の協議を行いました。支援会議を活用することで本人同意を得ることは難しい事例について検討することができました。

◆重層的支援会議等

開催日	重層的支援会議	支援会議
令和4年6月28日	1件(評価)	3件(評価)
令和4年7月26日	0件	1件(評価)
令和4年8月30日	0件	1件(評価)
令和4年9月28日	0件	2件(評価)
令和4年10月28日	1件(評価)	1件(評価)
令和4年12月20日	0件	2件(評価1件)



※支援会議とは：個人情報の同意が得られないケースについて、社会福祉法 106 条 6 に基づき、会議構成員に守秘義務を設け、支援を検討する会議をいいます。

### ①-3 セーフティネット会議（各部会の活動）

地域共生社会の実現をめざして、高齢者だけでなく、障がいのある方や子どもなどへの支援や地域住民が抱える多様で複合的な課題にも対応する包括的な支援体制の構築が求められています。地域全ての市民が住み慣れた地域で安心して生活ができる社会の実現に向け、生活課題の解決に関係機関が連携し包括的に対応するため、部会を設置して開催しました。

事業名等	内容
セーフティネット 会議 権利擁護部 会 第 1 回	●日時 令和 4 年 10 月（新型コロナウイルス感染症拡大のため書面開催） 内容 権利擁護センターの事業について 令和 3 年度の実績報告等
セーフティネット 会議 権利擁護部 会 第 2 回	●日時 令和 5 年 3 月 17 日（金） 内容 令和 4 年度実績報告及び課題提起 グループワーク 1 「後見人等担い手の確保について策を語ろう！ それぞれの立場でできそうなこと」 グループワーク 2 「本人の希望を叶えるための連携とは」
セーフティネット 会議 生活困窮部 会 第 1 回	●日時 令和 4 年 12 月（新型コロナウイルス感染症拡大のため書面開催） 内容 ①令和 3 年度の実績報告等について ②相談実績から見える特徴について ③令和 4 年度生活困窮者自立支援事業計画(案)について ④コロナ特例総合支援資金利用者アンケート結果について

### ②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

長期にわたり、ひきこもりの状態にあるなど、複雑化・複合化した支援ニーズを抱きかかえながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人の相談が入るよう、民生委員、地区社会福祉協議会、福祉推進員、居宅介護支援事業所等関係機関への事業周知を行いました。相談を受け付けた後は、本人と関わるためのきっかけや切り口の検討、本人に会う前の事前調整を行い、関係構築に向けた継続的な働きかけを行いました。

結果が出るまでには時間を要しますが、本人やその家族の状況に変化があり、困った時に相談をして来られる事例もあり、「あきらめない、見放さない」アプローチが必要とされます。各包括や CSW が定期的に訪問するなど対応をしました。また、アウトリーチ担当職員が対応した件数は 10 件、訪問回数は 83 回でした。

### ③参加支援事業

参加支援事業は既存の社会参加に向けた事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人のニーズ・希望と地域の資源との間の調整を行いながら支援しました。

ひきこもりの方や就労の意欲があってもうまくいかない方が社会に踏み出す一歩として、協力団体への要請、個々のニーズに合わせたプラン作成に取り組みました。重層的支援会議・支援会議に諮った支援プラン作成は1件でしたが、CSW や担当職員が地域の社会資源等につなげ、参加支援事業として取り組んだ支援ケースは29 ケースでした。

### ④地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

2-(2) ③地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）をご覧ください

## 11. 災害支援

### 11-(1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

災害発生した際に、速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者本位の支援活動が行えるよう、運営スタッフのスキルや経験値の向上や、運営支援者やボランティア活動者への災害ボランティアセンターを理解していただくことを目的に県社協と共催して今年度は、8月2日（火）に協定先のライオンズクラブ等や社協職員の他、公民館職員に参加を呼びかけ開催を予定していましたが、コロナ感染の拡大により直前に中止とすることになりました。

### 11-(2) 災害時における支援に関する協定の締結

松江市及びその周辺地域で災害が発生した際に、被災地において活動するボランティアに向けた支援が迅速かつ効果的に行われるよう、前年度の旧市内3ライオンズクラブに続き今年度は旧八束地域の4つのライオンズクラブと災害時におけるボランティア支援に関する協定の締結をしました。

#### ◆災害時におけるボランティア支援に関する協定

事業名等	内容
調印式	<p>●日時 令和4年6月30日（木）14:00～14:30 会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 参加者 約20名 内容 東出雲ライオンズクラブ、宍道ライオンズクラブ、鹿島島根ライオンズクラブ、八雲ライオンズクラブ、松江市社会福祉協議会との5者協定</p> <p>調印者 東出雲ライオンズクラブ 田中 敬康 会長 宍道ライオンズクラブ 川島 光雅 会長 鹿島島根ライオンズクラブ 岸 悟 会長 八雲ライオンズクラブ 稲田 宗 会長 松江市社会福祉協議会 松浦 正敬 会長</p>

松江市社会福祉協議会 職員数

令和5年3月31日

所属		正規職員 専務含む	継続雇用 職員	嘱託 職員	臨時 職員	パート 職員	計
専務理事		1					1
常務理事 兼 事務局長		1					1
総務課	課長	1					1
	総務係	4		1		4	9
	経営企画係	2		2	1		5
	松北事業所(松江社協介護センター)			5		5	10
	松東事業所(美保関介護センター)駐在含	1	3	7	7	8	26
	松南事業所(松南介護センター)			4		5	9
	湖南事業所(宍道介護センター)		1	4	1	6	12
	八雲児童センター			2		3	5
	介護認定調査	2	1	17		5	25
地域福祉課	課長	1					1
	地域福祉係	7		2			9
	ボランティアセンター	2		2			4
生活支援課	課長	1					1
	生活支援係	1		4			5
	くらし相談支援センター	3		7			10
	権利擁護推進センター	1	1	7			9
地域包括ケア推進課	課長	1					1
	地域包括ケア推進係	1		2			3
	地域包括支援センター	21	6	24			51
	在宅医療・介護連携支援センター	1		1			2
計		52	12	91	9	36	200

※正規職員数には市からの派遣職員を含む。